

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（女川原子力発電所2号炉工事計画）（136）
2. 日時：令和3年5月19日 13時30分～17時30分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

名倉安全管理調査官※、江崎企画調査官※、藤原主任安全審査官

三浦主任安全審査官※、伊藤安全審査官、藤川安全審査官※

杉原技術参与、谷口技術参与※

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

山崎統括技術研究調査官※、石田技術研究調査官※

東北電力株式会社：

原子力本部 土木建築部 課長、他3名

原子力本部 土木建築部 部長、他10名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言を踏まえた原子力規制委員会の対応の変更について」（令和3年4月28日 第6回原子力規制委員会配付資料3）を踏まえ、一部対面で実施した。

6. その他

提出資料：

- (1) 女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（防潮堤）（O2-他-F-01-0039_改1）
- (2) 補足-140-1 【津波への配慮に関する説明書の補足説明資料】（O2-補-E-01-0140-1_改12）
- (3) 津波漂流物の衝突荷重に係る指摘事項に対する回答方針について（O2-他-F-01-0064_改0）
- (4) 女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（地盤支持性能）（O2-他-F-19-0001_改11）
- (5) 補足-600-1 【地盤の支持性能について】（O2-補-E-19

－０６００－１__改１２)

- (６) 盛土の骨格曲線に関する解析上の取扱いに係る補足（全応力解析において動的変形特性を変化させた場合の影響）（０２－他－Ｆ－０１－００
６２__改０)
- (７) 女川原子力発電所第２号機 地下水位の設定，耐震評価における断面設定について（０２－他－Ｆ－２４－０００９__改２)

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。
0:00:02	規制庁の藤永です。時間がありましたヒアリングを開始したいと思います。サイトウ説明のほうをお願いします。
0:00:10	はい、東北電力の橋本です。それでは資料 7、地下水の設定耐震評価における断面選定についてというパワーポイントの資料について説明いたします。前回からの修正事項を中心に説明させていただきます。
0:00:26	めくっていただいて 3 ページをお願いいたします。
0:00:31	3 ページの御説明内容ですけれども、3 前回というか 952 回審査会合の指摘事項に対する回答について説明しているものですが、ナンバー 3 の地下水が低い場合の影響について
0:00:47	44 ページ以降では方針を説明ということに記載してありますがここでもその方針を説明しているということを識別できるように、目次右下の欄のところに検討方針を説明ということに記載させていただきます。
0:01:03	次 4 ページをお願いいたします。
0:01:07	下の図の上の段、真ん中の地盤の液状化強度特性の二つ目のポチのところで、ここは前回構成の低下等だけ書いていたんですけども、何の構成かわかるように繰り返し軟化によって地盤剛性の低下ということを明記いたしております。
0:01:27	少し飛びますので、
0:01:31	12 ページをお願いします。
0:01:35	12 ページは、森どのを液状化強度試験位置の代表性について説明したものですけれども、二つ目のポチで、今回は右下の II を
0:01:48	琉球粒度分布の範囲。
0:01:51	のばらつきの範囲に概ね入っているというような書き方をしてございましたが、説明としてちょっと適切でなかったなので、まずもう一度が締め固め管理して施行された人工地盤であるという説明と敷地の粒度分布の範囲を
0:02:07	概ね網羅する箇所です試験できているというふうにならずに合った説明に修正させていただきます。
0:02:15	続きまして、
0:02:19	一部体裁とか文言の修正はございますけれども 17 ページをお願いします。
0:02:26	ここは前回から追加したシートになっておりまして、もう一度のほうでは試験箇所よりもN値が低い箇所について説明を加えていたんですけども、旧表土につきましては、特に説明を入れていなかったということがありまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:45	もう一度と旧表土同じレベルで説明することにちょっと修正いたしまして、17 ページN値が低い箇所が3ヶ所ございましたとで1ヶ所はすでに1ヶ所は地下水より浅い場所で液状化が
0:03:03	影響ないところと、それからもう1ヶ所は防潮で設置に伴い取り除かれている箇所で残る1ヶ所の残りは1ヶ所なんですけれどもそこも液状化強度試験箇所を実施した箇所等まあほぼ同じ位置で試験できていると。
0:03:19	ということで試験液状化強度試験の場所としては問題ないものと考えているという旨の説明をシートを追加してございます。
0:03:33	すみませんそれに伴ってですね参考2にどの辺からとってるかっていうところを
0:03:42	つけておまして53ページには、これは前回からつけていた森とについて液状化強度試験箇所のN値以下となっている調査箇所の整理ということでつけていたんですが同じ趣旨の資料を54ページに追加。
0:03:59	いたしまして、旧表土のN値が低い箇所がどこから取っているということを参考に当部署の方に参考資料としてつけているというところをちょっと追加してございます。
0:04:14	それから、
0:04:17	また飛んでちょっと24ページをお願いいたします。
0:04:23	24ページはこの液状化強度特性の設定のまとめのページなんですけれども、ここの表の欄外に注記として、3.11平成23年東北地方太平洋沖地震の際、発電所構内の斜面については一部で、
0:04:40	肌落ちや亀裂が認められる状況というのは当然あったんですけども斜面が大規模に滑るような事象はなかったということ事実として参考として記載させていただいているというところを修正させていただきます。3章からはちょっと仙台から説明させていただきます。仙台の方でお願いいたします。
0:05:01	それを東北伊藤です。最初の変更点ですけども、評価という抗力係数的にと結びつきを得る部分も一応この三条の審査を公募で使った資料がありましたのでそれを1枚、20ページにシート追加をしております。
0:05:21	ちょっと、
0:05:22	続いて49。
0:05:24	ページですけども、応答指摘事項は倒壊等に対応するように回答の内容を記載を修正させていただきました。
0:05:34	続いて30ページになりますけれども、根室新聞の具体的な仕様につきましては凡例のところに記載の通り、各地盤改良の資料は参考にしますということで、当資料の一番最後のページになりますけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:52	参考として各種の仕様の違い施工部と記載させていただいております。また半分についてもいずれ変える事業主設けて、設置許可後の追加と記載していたんですけど。
0:06:07	改めてを赤枠で設置変更許可金持ち箇所っていうのをイトウ別の判例をつけてあったと思うと記載しております。すいません大変申し訳ないんですけど、この資料で一部と現象建屋の有無。
0:06:22	多分拠点への埋め込み移動模範ドバイ一つの販売をするの一つ記載されてまして、一つこれすいませんそういう中で、
0:06:33	時にはそういうのも起こってしまっております。申し訳ありません。ここは削除させていただきます。
0:06:41	ずっと三、四日ページ 32 ページですけども赤枠部も設置許可のほうに追加された資料は改良地盤の説明を各図面の注記として、記載をさせていただいております。
0:06:58	あと防潮等につきましては伊藤ハムの今日口頭帰国ルートにつきましては施設という分類ですので、ちょっと凡例の当機構というのは違う色を使っているというと中期でやっぱり示しております。
0:07:14	続きまして 3 便を運航時大風気象選定フローですけども、昨日こと起き踊り行動と関係が持ってるみということ黒丸のところですけども、
0:07:30	元以降の当期有効。
0:07:34	きるんイトウ浮き上がりの発生することはないというところこれやすく記載を追記しております。
0:07:45	36 ページのフロー理論につきましても同じように表を申請をしております。
0:07:53	はい。
0:07:55	続いて四輪可能性というのを構造物の選定につきましてはあくまでも線量構造物と同様に 3 ページの確保とプロジェクトチーム 1000 程度だということがわかるとタイトルを修正をしております。
0:08:13	40 分岐して投資的残さに対する回答で文章に東証で合わせて若干修正をしております。週数の運用の説明は以上になります。
0:08:32	はい、規制庁浮上で説明は以上ということで、質疑のほうに入ります。私の方から何点か確認ですが、今回審査会合水量としていろいろやっていただいている中で、
0:08:46	ちょっと前回なぜか 311 地震においてですねどういった変形し変形があったかとか、液状化に関してですね。
0:08:58	それって何かの検証は何かできないんですかねっていう話をちょっとお聞きしたんですけども、そのキクチと多分やらないような話を伺いましたが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:08	ちょっと許可のまとめ資料をちょっと見てたらずね。
0:09:11	311 地震後に何かの発電所の敷地護岸矢板式護岸ですか、これらの実践力、16cmぐらいだとか水平月と計測されたと。で、この辺については液状化の影響というのは当然ありますので、結果を利用施設
0:09:26	設工認公認で再現解析していますというふうにちょっと書かれたように見えました。
0:09:34	となると。
0:09:36	要は許可でちょっとやってきたことっていうのは何かやっぱ個々設工認見ないといけないのかなとちょっと思っております、これって何か今後示していただけるような
0:09:49	形で考えてよろしいんでしょうかっていうのちょっと今伺いたします。
0:09:57	はい、東北電力の橋本です。
0:10:01	新しい事実ということについてちょっとお示しできないかもしれないんですが同じようなえと液状化強度設定についてはそのときと同じですので
0:10:15	それがエビデンスというか、どのくらいの
0:10:20	説得力を持つかどうか別にしてですね時設定した液状化強度でやるとこのくらいだよということでちょっとヶ崎さんに比べると比較するデータとしては少し
0:10:35	寂しいというか、少ない感じはあるんですけども可能な限りでの比較ということでちょっとお示しすることで検討したいと思います。
0:10:46	はい、規制庁浮上です。はい。一応私は今の申し上げたのはあくまでも許可のまとめ資料で回帰たことはちゃんと多分されるんですよという確認でしたので、一応まとめ資料邪魔有効応力の中の検証みたいな、確かそういう方をされてたんですけども、ただ実際今回の
0:11:04	会合上だと多分、液状化強度特性が要はだと、或いは保守性とかですそれら辺、多分何ですかねとかその辺については見ないといけないのかなというのもありますので、そういったマネージャーと今後予定されているとはわかりました。
0:11:21	じゃあそれはお願いしましてその次、
0:11:23	ちょっと進みますと、
0:11:25	会合資料の
0:11:28	17 ページ。
0:11:30	をお開きください。
0:11:33	17 ページにおきまして
0:11:37	いずれに里道に管理者数の要は試験によって赤ちゃん
0:11:42	という意味違う意識が低所NHとこについてやったんですけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:48	旧表土が今回追加いただいたと。これわかりまして、
0:11:51	これで補足説明資料とか内の多分これは今後補足説明資料で多分、
0:11:58	追加していただけるという理解でよろしいんですね。
0:12:03	載ってましたっけ。
0:12:04	東北電力の橋本です。すいませんその時にいただいたコメントがちょっと盛堂 に関してのコメントでしたので、説明をちょっと省略してしまっていたところがあ ったんですけれども盛り度で改定したときに、
0:12:22	同じときですね、旧表土につきましても補足説明資料のほうで説明をちょっと 加えさせてはいただいております。はい。
0:12:33	わかりました。じゃあ、そこはmgとしてちょっと次のページもちょっと事実確認 なんですけども二つ目の四角で前熱意低い箇所は参加者という箇所は地下 水よりも朝から関係ありませんで、
0:12:48	昔は取り除かれてるから大丈夫ですので、最後の1ヶ所、これがちょっと等も 確認書と思ってるんですけども、液状化強度試験位置とほぼ同じ位置である から、
0:13:03	NN値低いところは気にしないでいいですよっていうふうに、多分そういうふう な書きぶりかなと思っておりませんが、具体的に言うと多分参考の2ですか ね、一番強い炉の53ページ、54ページ。
0:13:19	この54ページの
0:13:24	この右上の表の二十八、九B-5-1N値3ですかね多分こいつが多分、今私 が申し上げた様は、
0:13:34	N値の芳憲くんの1-よりもなんか多分もっと違う場所の低いところの話だと思 うんですねこれ。
0:13:42	いや、無理の話だと、要は資金化車両低いN値は内容は、何らかの理由で、 いや禁止しないでいいですよっていうふうな話だったんですけど、ここ1ヶ所どう しても出てきてしまうというふうな形かなと思うんですけど、この
0:13:57	雄一さんて何か今柏崎とかでやってるように、要は分布がどれくらいあるのか とか或いは土質性状どれくらいなのかっていうのはちょっとまだ今この資料上 わからず、その辺って何かこう、恒設とかされているのかをちょっと説明いただ けますでしょうか。
0:14:14	はい、東北電力の橋本です。ここについては確かに杜どの説明とちょっと異な っていることは認識してございます。今おっしゃっていただいたように、観点で 言いますと、
0:14:30	この地域の地域の区域の森度につきましては、締固め等と方

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:40	機器均一的な品質管理ができているということを別途確認してございましたので、その辺も使ってですね後この局所的な移行のN値ということも考えて少し補足。
0:14:53	ごめんなさい。
0:14:57	旧表土の話ですねと。
0:15:05	東北電力の田村です。今フジワラさんからお話のあったのは 54 ページの旧表土の
0:15:14	液状化強度試験で確認しているものの、NTG5 が再掲なんですけれどもそれも低い、
0:15:23	NN値さんの話だと認識しております、
0:15:29	表のほうに書いて、
0:15:31	でございますけれども、
0:15:33	同じボーリング孔でやっているものでございまして、液状化試験のNN値 5 というのは、震度 7.3 で出たもので、
0:15:43	それよりも 2 メーター低いところのN値が 3 だということで、同じボーリング孔でこうN調鉄塔
0:15:54	なんて言うんですかね。
0:15:58	深く掘ったら測ってっていうその一連の流れの、
0:16:01	ものだということで、
0:16:06	旧B-5-1-3 のボーリング孔でN値のデータが振動方向以降連続的に出てるんですけど、そういった
0:16:16	データ補足説明資料のほうに今回のやつには参考なる載っておりませんが、同じような性状で出ているような状況かなというふうに我々考えてございますので、
0:16:28	ちょっとこの参考 2 のほうにそういったN値の
0:16:32	旧B-5 のN値を示して、同じようなもので、
0:16:41	大きな影響はないよということをする付け加えさせていただくを行うと思えます。合わせて、
0:16:47	これ写真とかも載せた上で、全然違うような性状のものではないよということも、ここで、
0:16:55	示したいなというふうに考えております。以上です。
0:16:59	設置フジワラですけど、何となくわかりました。これ液状化の強度試験は確か A-5 っていうやつで深度がなかなか 9 でしたっけ。そういった条件ですか、或いは過去の振動でとったっていう状況と、あと、実際には 7 から 9 の中で 9.33 というところで同質の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:18	連続性以上は代表性というかね、そういったものをきちっとやってみたら、今ちょっとなんか今連続性とか性状とかそういうのを踏まえた中サイトウ核になるかなと思ったんでは、それではよろしく願いできますでしょうか。
0:17:35	東北電力の田村です。その点については対応させていただきたいと思いません。以上です。
0:17:42	規制庁フジワラです。じゃあ、引き続きまして、20、24 ページをお開きください。
0:17:51	24 ページにおきまして、先ほどご説明ございましたように注記で、これ追記いただきまして、発電所構内の斜面は、一部中 3 日 1 時に腹落ちが切れたけど、すいませんでしたっていう話がありまして、
0:18:08	これらの別のなんですかね、ちょっと今から申し上げるのは、
0:18:12	補足説明資料でちょっと今後示していただきたいというものを持っていることをちょっと申し上げますけども、
0:18:19	このですね刷新規律とか肌落ちどんなんだったんですかという写真だったり或いはどういう斜面の断面形状だったかとか或いは平面的にどの位置にあったのか、あと 3 一連のOSの加速度とか、
0:18:36	あと、地盤物性として密度とかせん断強さ、要は端的に言うとKKただし、
0:18:42	そこで何かそういったのを示しているのがありますので、それについて、近い形の中要は女川でどういった条件がこういうふうな壊れなかった滑らなかつたりするっていうのはちょっと
0:18:58	311 の事例として全ちょっと補足でちょっと示していただきたいと思うんですけど、いかがでしょうか。
0:19:05	はい、東北電力のハシモトですすいませんちょっと事実として、情報が少なくてすいませんでして写真についてはちょっと崩れていない場所なのでどこまでちょっと写真があるかはちょっと確認いたしますけども断面とかですねこういうところが
0:19:23	崩れてないんだっていうところについて、可能な限り、今後の補足説明資料でお示しするようにしたいと思います。以上です。
0:19:34	規制庁フジワラです。もしかしたら示す場所が六つの施策
0:19:41	そういうエザキですけども、ちょっとお同じコメントどっかで出そうと思ってたんでちょっと補足で的にコメントを加えてもいいですか、エザキさん、よろしくお願いします。
0:19:52	今
0:19:56	フジワラさんの方から島根の会合資料を参考にという話があったようにですね。
0:20:04	今回の応答を評価対象となっている斜面と。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:09	その当時の斜面、
0:20:11	比較できるような表の形で示していただきたいというのが一つです。
0:20:18	それと朝日信金の松尾層状況写真としてどのような状況だったのかっていうのをサイト全体へ見え平面的に見えるものでもいいですしその斜面をどう
0:20:30	ある形で映し出していて基本的には、滑りがないことがあると確認できるものであれば結構ですんで、A層に関しては、
0:20:44	補足の資料でも構いませんので、しっかりとそこは説明してください。
0:20:51	はい、東北電力の橋本です。はい、了解いたしました。はい。今後の補足説明資料で
0:20:58	整理してお示ししたいと思います。以上です。
0:21:08	規制庁浮上ですと、私のほう取引続けて 27 ページをお開きください。
0:21:15	ねえ。27 ページ目の表記だけの話なんですけども、この表の下に注記の※1 っていうのがありまして、これ以前私の方から名で建屋が入ってないんですかという話をちょっと申し上げたの踏まえて多分こっち追記されている内容かと思っておりますので、
0:21:34	要は私が申し上げたのは、ここでは液状化の考慮した評価っていうのはティアワンは要らない理由は何か、何がしか書いたほうがいいんでしょうねという話をちょっと申し上げたんで、私のイメージという
0:21:49	土木のこういった土に埋まってる施設っていうのは、液位当然土の液状化の影響を受けるから、
0:22:00	だからこの全応力とかいう抗力という解析手法について、
0:22:05	検討する施設ピックアップしたっていう印象かなと思ってますね。ただこの中期書いてある内容ちょっとそれで見るとこれ建物構築物において影響を及ぼす要因は動圧よりも完成力が支配的である。
0:22:21	から施設ごとに影響検討するとちょっと何かロジックが仲良くまいちわからないんですね、多分、施設ごとに液状化の影響検討するという文言は多分ですけど、動圧よりも、慣性力が最適
0:22:35	だから、液状化って、若干ちょっと違和感があって、ここは何かもうちょっと考えたほうがいいような気がしたんですが、いかがでしょうか。
0:22:45	これイトウです。まずすみません修正点としてこのとても一定と御説明する向けておまして、ソガメさんおっしゃられる通り、非常用倉庫に対して当月をしております。
0:22:59	等々、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:00	投資もして負けて動いとる慣性力って導通比べると関連する行為を我々も受けモデルの導通影響あるとしてもそんなに致命的な影響度の一定理由書いていたんですけども、改めてのコメント受けまして、
0:23:17	例えばにつきましてはそういうモデルでモデル化をしておけば、周辺地面に影響が対象性を考慮してメールでイトウ高度がファンを
0:23:29	であると、及び書きかえたほうがいいかなと思いました。
0:23:34	以上です。
0:23:37	規制庁エザキですけども、多分ですね、もう少しわかりやすさの観点からすると、地上構造物は5月よりも、慣性力が支配的であるという一方で、地中構造物地下構造物は5月のほうが支配的である。
0:23:52	いう話で、そういうことから、建物構築物に関しては、いわゆる地上構造物大枠ぐらいに入るので、液状化の対象から外しているっていう、そういうロジックですよ。その辺がわかったほうがいいと思うんですけど。
0:24:12	これ通す通り、今の規制決定は今後資金流出させる方向で修正をさせていただきます。
0:24:24	以上です。
0:24:26	いいですけどもそうしないと駄目ここ及び違いしちゃうと別の見方をしてしまうと、この意図に急がなく話になると思うので、その辺はわかりやすくしたほうがいいと思うんですけど。
0:24:40	ということです。
0:24:46	テレ東グループとですねいたしました。
0:24:48	。
0:24:51	規制庁フジワラです。ちょっと用語の使い方だけもう1回確認なんですけどもこの注記の※1で書いてある建物構築物っていう定義が、私ごめんなさい。建家等、
0:25:04	土木構造物すべてひっくるめたいいわゆる、機器配管に対応する検討建物構築物というふうに読んだんですけども。
0:25:12	ここでは、
0:25:14	対象としてからちょっとごめんさ今なんか今何か曖昧な気がするんでそこだけちょっとはっきりさせたほうがいいのかような計算はいかがですかね。
0:25:22	当行のことです。とってこっち、ちょっと建家全般で構築普通に該当するものとして排気塔という
0:25:32	現象として建物構築物と協議しております。
0:25:40	ご起立膝ですとなんてすかね。
0:25:45	まず事業で整理しますと、解釈別記において建物構築物

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:51	建屋とか土木構造物全部ひっくるめてますんで、多分それがガイドとかになっていくと多分だなど分かれていくような形になってると思うんですね、要は建物構築物っていう書いちゃうと要はいろんな見方ができるので。
0:26:08	もうちょっと何か限定したほうがいいんじゃないですかっていうのが私の趣旨をもっと言うと、建屋の耐震性に及ぼす要因はとか、アームっていう今記載もし行かせたらそうですし、或いはその土木構造物主体としてかけたら、
0:26:24	土木構造物の土の中に待ってるから、そういった液状化の影響を種類考慮するとか、今鈴木保様の用語の使い方の記載のわかりやすさという観点でのちよっと確認なんですけど、ご理解いただけますでしょうか。
0:26:41	どうするの理解できました。あまり例えば構築物というここで使うという誤解を招きますので、
0:26:52	それと、省令等で説明。
0:26:58	記載を修正させていただきます。以上です。
0:27:05	はい。規制庁浮上です。わかりました。その次に行きまして、37 ページをお開きください。
0:27:15	37 ページはですねこれちょっとお伺いしたんですけども、表のフローの中から一番真ん中で取水口各戸貯留堰含むちゅうのがあるんですけども、ここで
0:27:30	6 連のボックスカルバートである取水効果は既に水色のこれは置換コンクリートがあって、
0:27:40	ちょっとあの運用はボックスカルバートと置換コンクリートの間で隙間があいているように見えるんですけどこれ実際隙間が生きる構造隙間というか、
0:27:48	埋戻し箱に合っているというふうな実際自体はそう理解してよろしいでしょうか。
0:27:58	当庫で売る事の性というものをシノられましてちょっと
0:28:02	目的にずれるかもしれないですけども、今の仕事に進むのマークが記載されており同等であるという表現をとります。以上です。
0:28:12	はい、以上で質疑というつもりで埋め戻すっていうかですね、度目で作っていて、そういうことで、やはりサイト差は何が言いたいかという浮き上がりの評価において、ここ今⑤っていうのは浮上がり評価やる施設でありますので、
0:28:30	ここのVm雨漏りどの閉めますとかいうのは、いわゆる地震時の浮き上がりにおいて考慮しないと、そういうふうな理解で
0:28:39	よろしいでしょうか。
0:28:44	イトウンとするとその通りです。
0:28:48	はい。規制庁フジワラです。わかりました。ちょっと 34 ページちょっと戻っていただきたいんですけども、34 ページでフローがあって、ここで⑤フローの一番

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	右下で⑤の施設はこんな施設あります或いは④の施設となりますっていうのがあって、
0:29:08	ちょっとわからないのか、例えば④とかですよ今日のフローの中でのまた書きを
0:29:14	追加していただきましたですし、昨年の液状化できるか発生しないので。発芽
0:29:21	しないということで浮き上がりの影響を受ける可能性なんで、これが④の施設で本当にそうなんですかっていうのはちょっと若たの。
0:29:30	見落とししたらですね、④で書かれてる例えば出水聳標準部、断面④⑤
0:29:37	とかがちょっと公開の会合資料じゃなかったんですね、何かと言うとこういったフローで、ここに落とし込まれたその根拠がわかるような何か図がどっかに示されているんでしょうか。今なかったらどっか参考かなんかでもちょっと
0:29:52	置いといていただいたほうが何かのような
0:29:54	ここに書いてある断面はここを見れば一目瞭然ですっていうのがわかるようにしていただきたいんですね、いかがでしょうか。
0:30:06	当部門ことです。丸文に来総務金融状況高速度領域毎というものにつきましては、補足説明資料のほうで海水ポンプ吸うとこと一緒に
0:30:22	ここに記載のものは同等説明をしておりますんでそれを応答この資料のしぼんつけるということでしょうか。
0:30:31	規制庁フジワラですと私が申し上げてるのは、審査会合資料において、主水路括弧標準部、断面④⑤っていうふうな記載があって、この
0:30:45	じゃあ断面が本当にこのフロー上どこに今根拠としての見たらわかりわかるのか、例えばですね審査会合の場で補足説明資料が脇にどんと積んであって、
0:30:59	それを見ることができたら私は参考資料につけたほうがいいんじゃないですかっていうのは申し上げませんが、もし補足説明資料脇に置かない場合は、どういった断面、ここで嫌だされてる断面でのある程度、
0:31:16	網羅しておいたほうがいいんじゃないかっていわ趣旨ですもっとその取水量っていう名前が
0:31:24	何なんですかねと⑤にもある閉まるようにもあって、断面 236 だけなんで丸なんですか。
0:31:32	断面四、五だけなんで④なんですか迷う全応力という抗力どう使い分けるか、これ、今の資料だとわかりにくいのでたほうがわかりやすいですねっていう観点で申し上げます。
0:31:46	今日するだろう。
0:31:48	そこは自由かもしれないですけど、一応、ちょっと私はそういうふうに感想をいただきたいということだけ申し上げます。よろしいですかね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:58	トークです。当初、各どうも後ろにつけていたんですけど、結構分数が多くなったので、途中で外したという経緯があるんですけども、ここ。
0:32:11	その運用フローにチェックするもの。
0:32:15	代表的なものについて資料に参考資料として当つけさせていただきます。以上です。
0:32:25	はい。
0:32:26	ちょっと規制庁扶助です。そうで私が聞いた内容は同じ名称で何か明らかに違うものだけちょっと気にして例えば傍聴の岩盤部、或いは防潮というの岩盤部とこれもう一目瞭然だから、特に断面とか、一々見なくても、
0:32:42	私は理解できましたので、一方でその取水炉のどこだけはどうしても今までの資料と言わひっくり返したりとなかなかちょっと見にくいところがあったので、ちょっとそういった観点でちょっと気には名称と明らかに名称からわかるもので、
0:32:59	特にいらなと思うんですけど、明らかにちょっと名称がちょっと類似してもちょっと付けたほうがよりわかりやすいかなと思った次第ですけど、とりあえずそんな感じで私の思いだけお伝えしました。いかがですかね。
0:33:14	その通りです。いたしました絞って、特に③の1の右側の③④⑤てる構造物研修等パスにして記載させていただきます。以上です。
0:33:30	柱状です。わかりました。私の他の審査会合資料に関しては以上です。その他でまず執行金されてる方でもし何か。
0:33:40	ですか。
0:33:41	そしたら、在宅の方でイトウ会合資料に関してええとございましたらお願いします。
0:34:13	規制庁フジワラです。特に在宅の方もいないようですので、
0:34:18	はい、じゃあ会合資料、まず東北電力さんの方から何かございます。
0:34:23	はい、東北電力のハシモトですと、こちらからはございません本店のほうも大丈夫でしょうか。
0:34:32	本当に特にありません。
0:34:35	はい、じゃあえっと次の説明に移り移っていただきたいと思います。スケッチ地盤の支持関係ですかね、説明のほうをお願いします。
0:34:45	はい、東北電力の橋本です。説明としては、資料4のですね回答整理表の順番に基づきまして
0:34:58	そのあととして資料での説明をさせていただきたいと思います。
0:35:03	資料4というのが一番支持性能の指摘事項に対する回答整理表になってございます。
0:35:12	3000

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:20	はい、では4の地盤支持性能の回答整理表なんですけれども、
0:35:33	14ページをお願いいたします。
0:35:39	鉄塔No.73の森との動的変形試験に対して実際の解析平成ひずみレベルを追記した上で試験ひずみとの関係性や近似曲線の適用性を説明することということでこれについては後で三坑も里道関連で参考資料26でまとめて説明させていただきたいと思います。
0:36:01	今回、回答につきましては、
0:36:04	次が
0:36:07	22ページのNo.99になります。
0:36:13	こちら森どの変形特性の話でもリードの動的変形特性における退避ひずみ領域での骨格について静的3軸試験結果から設定していることの妥当性を整理して説明することということでこちら参考16のほうで説明させていただきます。
0:36:31	次のページ23ページのNo.104セメント改良と改良地盤を区分した理由について施工範囲及び施工方法の採用踏まえ説明することと、
0:36:43	ということで、こちらにつきましては、セメント改良と改良地盤作り方の違いを説明した上で、使い分けについては施工方法の違いから適用している場所が違うということです
0:36:59	説明した上で通せ広範囲それぞれについて図示してそれぞれの断面図それから平面図に反映している。
0:37:10	という修正をさせていただいております。資料での説明は、これはちょっと割愛させていただきます。
0:37:19	次のNo.100校、これ地下水関係ですけれども、浸透流解析における蒸発散の考慮方法について定常買い付け及び非定常解析の設定条件がわかるように説明することということで
0:37:33	これにつきましては設定条件がわかるようにですね好条件は待避定常解析においては初期条件としての日平均降雨量与える定常状態をつくった後で、そのあとで非定常状態として今度は検証期間に対応する
0:37:51	甲が観測孔を与えているということ。それから定常状態で蒸発散を考慮してるんですけどそれはもう法という方法用いて推定していて、その非定常状態は同じく検証期間の気象条件、
0:38:09	基本とかですね等、そういったものを用いて熱史熱収支方用いているということ、資料の中に記載させていただいておりますところでも、資料のほうは、説明は割愛させていただきたいと思います。
0:38:23	次のページに行きまして

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:28	No.106 が、もう一度の大ひずみ骨格の妥当性確認を一次元等価線形解析で検証していることについて非線形解析による影響の観点も踏まえて整理して説明することということでこれも後で参考 26 で説明させていただきますが今回
0:38:47	二次元の有効応力解析で比較検討した結果について説明させていただきたいと思います。
0:38:53	次の 107 につきましては森どのN値が小さい箇所が残存してる範囲を整理した上で、ええと防潮堤外の構造物への影響の観点も踏まえて説明することということで、こちらはですね
0:39:08	ちょっと資料のほうで、
0:39:10	ご覧いただきたいと思いますが、資料 5 になります地盤の支持性能の補足説明資料を
0:39:18	これの 225 ページをお願いしたいと思います。
0:39:34	225 ページにつきましては文章のほうで説明させていただいておりまして、下から二つ目の段落、
0:39:44	液状化試験位置のN値の下限への移行で 4 と同じ値となっているデータそれから低いデータについて、なっているというのがありますけれどもいずれも地下水より浅いところの森度であって、
0:40:00	あと、それから防潮てまたは排気塔連絡ダクトの設置に伴いトリノ使えて現存していない。人であるということでデータにつきましては、233 ページ。
0:40:16	の下側の、
0:40:18	通 4 点 233 ページの II 4.2-17 の(3)のほうに増水示させていただいておりましてこれを先ほどの介護資料のほうに載せさせていただいているというような状況でございます。
0:40:36	回答整理表のほうに戻りまして、次の 108 番、これが今までのもう一度の関連の総指摘事項をちょっとまとめた形で改めていただいた形かと思えますけども地場小さいとか曲線における
0:40:54	試験データの提示がない範囲について有効力解析全応力解析、それから滑り安定解析における解析上の取り扱い、それから設計結果に及ぼす影響を説明することということで今回参考に 16 ということで、
0:41:10	つけさせていただいております。
0:41:13	それでは参考に 16 の説明させていただきたいと思いますので、
0:41:18	この資料千葉の支持性能の補足説明資料の一番最後のところに参考資料 26 という
0:41:28	ものが 25 ページ物についておりますので、そちらをお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:40	参考資料 26 ということで森どの骨格設定に関する解析上の取り扱いについてということで、これは前回ですか一応つけさしてはいただいていたんですが内容を
0:41:55	全面的に改訂してましたのでちょっとタイトルのほうに黄色でマーカーさせていただいております。
0:42:03	1 ページ目一番海洋として資料で説明する内容について先日のヒアリングでどういう方針で説明するかということを説明させていただきましたけれども、その内容をこの資料のどういう説明するかということをこのページで説明させていただいております。
0:42:26	具体的な内容としては 2 ページ目から始まっておりますと 2 ページ目につきましては、まず動的変形試験のデータ取得範囲を超えてる領域という文字との状況ということで、
0:42:38	妥当性の確認のため、前提としてデータ取得範囲を超えても、もう一度が破壊していないことを確認してそのことについて説明させていただきます。
0:42:50	2 ページにつきましてはどのような試験で等、動的変形試験をやっているかということを説明させていただいております。
0:43:01	その結果というか終わりの状況なんですけども 3 ページ目に行きまして、これは 3 ページ目は動的変形試験終了時の供試体の状況という写真なんですけれども、供試体につきましては自立していて破壊して終了したわけではないと。
0:43:19	いうことを示させていただいております。
0:43:22	次 4 ページ目につきましては同じ試験の応力履歴曲線でこれは各拘束圧における最終段階での登録履歴曲線を示しておりますけれども、
0:43:39	これにつきましてはちゃんとループを描けていて、破壊に至って終了してではないということで全停会えと破壊しないという前提のデータとしてお示しております。
0:43:53	次の 5 ページにつきましては、もう一度に関しまして液状化強度試験の状況を示しております液状化強度試験というものもその厚み圧密非排水で行う繰り返し 3 軸試験でありまして、
0:44:08	測定とか制御とかにつきましてはちょっと違うものの試験、
0:44:15	の内容としては基本的に同じだということを記載しております。従って同程度のひずみでの供試体の状況については、参考にできるものというふうに考えておりますので液状化強度試験結果の抜粋をⅡ-2。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:31	下のほうの図にして示しておりますけれども、強度試験終了後においても供試体が破壊してなくてですね、特に液状化強度試験につきましては、両振幅軸ひずみPa高度 10%程度まで。
0:44:47	大体試験をしてるんですけども、これはせん断ひずみの両振幅で 15%に相当するもの。
0:44:55	ですけども、それを付与しても社会性ないということを確認しているということでございます。この 10%程度までの結果については 48 個の供試体で試験をしているもののうち、34 孔で確認をしていて、
0:45:11	14 個のうち、注意事項については、その試験範囲内で歪がそこまで与えている応力振幅比の関係で、そこまでひずみが至らなかったもの。
0:45:24	三坑だけセンター破壊したものがありますけれども、いずれも径が 100mm というちょっと細目のやつで司会したものであって、供試体へのできる梁入り方が影響したものとこれはちょっと推測でありますけれどもふうに考察しております。
0:45:41	当液状化強度試験の詳細についてはちょっと今回の資料に、
0:45:46	つけておりませんでしたけれども以前提出しております参考資料 14 に核都市圏のデータの結果とあと写真について提出させていただいております。
0:45:59	それから次のページの 6 ページでデータ取得範囲の制限ということで、前回少し口頭でお話ししたところもありますけれども、大型 3 軸試験において
0:46:16	今回のやつにつきましては周波数 0.1Hz でやっております、繰り返し 3 軸試験につきましては 0.05 から 1Hz というところでゆっくり目といいますかゆっくりのほうの 0.1Hz を採用していると。
0:46:33	いうところでございます。早くすると。
0:46:38	やっぱり供試体がついついできなくなるということで 0.0 孔にしたとしても、ちょっとそこは倍半分くらいまでしか違わないのでちょっと根本的な解決にはできなかったということでございます。
0:46:58	この章では動的変形試験終了時には摩耗イトウの供試体につきましては破壊していないというところの確認結果を示しております。
0:47:07	次に
0:47:09	7 ページからは解析上の発生ひずみの確認ということで、先に II A と 8 ページ以降をご覧くださいと、ちょっとによってせん断ひずみの電池が違って大変申し訳ないんですが、
0:47:32	ですね。
0:47:33	各系統解析におきまして

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:38	0.01 た 00 孔っていうのは 0.5%以上になりますけれども、それ以上のひずみが発生していると他のアクセスルートA8 イトウでなくダクトにつきましても、試験範囲であります 0.0 程度に
0:47:54	超える系統。
0:47:57	歪が発生しているということは確認してございますので、従ってちょっと、
0:48:05	ここにこのひずみに対応する設定が必要ということで我々としては、
0:48:15	7 ページの下から 4 行目に示してますけども、静的強度試験に基づく骨格を設定しているということでございます。
0:48:26	うちがある。
0:48:37	%
0:48:38	はい。今ご質問いただきましたけれどもレンジが-0.25 とか 0.1 せずと書かれてますけどもこれは 1 に対する数字ですので、0.100 は 10%ということでございます。
0:48:55	次に 12 ページ、はい。
0:49:01	. 011%です。
0:49:05	12 ページからは既往文献等による強度及び動的変形特性の設定ということで、こちら
0:49:14	一般って世の中での文献等の記載でございまして 4.1 につきましては動的京都と静的強度を比べたものであって、特に締固め 4.1 では、締め固めた不法後ではある程度の繰り返し回数までは、
0:49:32	動的強度のほうが静的強度を下回らないとした報告があつて、女川でもその盛堂につきましては十分に締め固めたものであって、ちょっとエビデンスとまでは言えないかと思うんですけども動的京都の方が成績表と上回ってるというふうに考えていると下回らないというふうに考えているということでございます。
0:49:53	4.2 から修正GH持てるのかよってこれは以前に載せていた資料とほぼ趣旨としては同様でございまして、
0:50:04	gpmいいモデルを
0:50:08	実験値にフィッティングさせるために、GHいいモデルを用いているんですけどもそう的には提案者のやり方に従ってとせん断強度に全件数ような骨格を設定しているということでございます。
0:50:25	次、15 ページからの交渉につきまして、今度は有効力解析における森どの液状化強度特性の設定についてということで、
0:50:37	こちらの層につきましては柏崎さんでやられている要素シミュレーションですとか改札かの場合はサイクリックモビリティの再現ということで御説明されてますけれども

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:53	こちらのやり方を参考にして要素シミュレーションまた二次元解析を行ったものでございます。交点位置はA棟要素シミュレーションということで、
0:51:07	試験結果に対してシミュレーション要素のシミュレーション解析を行った結果が16ページにございます。15ページにありますように液状化強度試験と同様、繰り返し荷重によりひずみは漸増するものの急に
0:51:27	導体するものではなくてとせん断応力採用値には過剰間隙水圧が低下すると。
0:51:33	有効でくが回復するというので繰り返し軟化の特徴を再現できているということを確認しています。
0:51:40	それから17ページと5.2のほうでは、では S_s を与えたときの二次元解析ではどうなんだということで、
0:51:55	再現しておりますけれども、ここにつきましては、
0:52:11	もうひとつにつきましてあそこ。
0:52:17	すみません。
0:52:20	海側のもう井戸の大体中間地点のところてんのを抽出点にしておりますけれども、その結果として
0:52:30	液状化強度試験の挙動を再現できているということを確認しております。この相としては18ページにございますようにと文字とにおける液状化強度特性の設定は要素シミュレーションによる繰り返し軟化を再現できており、
0:52:49	また日現負の有効力解析においても、試験の結果を適切に表現できているというふうに考えております。
0:52:58	6番で
0:53:02	動的変形特性を変化させた場合の影響ということで、今まで設定が妥当だと考えている根拠としては、お示したんですけども、じゃあ、仮に変化させた場合に設計に及ぼす影響はどうかということで整理したのがこの章でございます。
0:53:22	6.1につきましては前回ご説明しておりますけれども、地盤安定解析におきましては、動的変形特性。
0:53:31	先端京都に点検するよう保管して設定していて、この方が動的変形試験のみに
0:53:41	基づくせん断応力に変化させると
0:53:45	等価剛性が小さく評価させるので。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:50	発生せん断応力が過小評価されるということで、今の設定の方が保守的な評価ができるというふうに考えております。変化させた場合の影響については当解析を行った結果を別資料で、
0:54:06	出させていただいておりますのでこの資料の後で引き続き説明させていただきます。
0:54:12	6点には全応力解析において動的変形特性を変化させた場合につきについてなんですけれども、こちらもせん断応力が小さくなりますので、同圧が小さくなって支柱の土木構造物については耐震設計としての照査値が小さく評価されるというふうに考えております。
0:54:31	これの実際の解析した場合の影響についても同じく別資料で説明させていただきます。
0:54:40	D棟、
0:54:42	6.3-20 ページからは、有効力での変化させた場合の影響を記載しております。これは以前に
0:54:53	シェークでちょっとへ比較した結果を載せたんですけれども一次元でいいのかとか、
0:55:01	やっぱりFLIPで直接示したほうが説明性として、より適切かというわかりやすいかなということで今回FLIPで、解析比較を行ってございます。
0:55:16	でFLIPにつきましては、ですね、21 ページにございます。今FLIPでの地下水線の森どの変形特性は赤い線、赤点線プラス赤実線。
0:55:32	での設定になってるんですけれどもこれを変化ケースとして、動的変形試験のほうに合わせた青い線+青青実線プラス青破線、
0:55:46	のほうに変えた場合にどうなるかということで
0:55:50	解析しております。
0:55:52	結果が 22 ページになっておりまして照査値と比べますと、
0:56:00	福井の方を断面力照査がやや下がっている。
0:56:05	ここではございますけれども、22 ページの下にありますようにステート滑り安全率で照査する背面補強工とか置換コンクリートその他につきましては、大きな違いはないというふうに判断しております。
0:56:21	応力の違いにつきましても見ておりまして 23 ページには、両方のを鋼管ぐいの断面力の多さを示しておりまして、若干減っとう小ひずみに変えたほうが少し
0:56:37	曲げモーメントとかがちょっと小さくなってるセンターにくもいやいや小さくなってるかなという感じでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:47	24 ページには背面補強工とか、置換コンクリート改良地盤の破壊の状況を示しておりましたセンター破壊はしていないんですけれども、センター破壊一部ちょっと津波時に窃盗
0:57:02	一部、当センター破壊するところがございましてけれども、引っ張り破壊の状況につきましても、
0:57:14	局部的には少し要素の位置が違っているとございましてけれども全体的には大きな変化が出ていないということでございます。
0:57:24	25 ページには、以上のことから、もう一度の骨格設定に関する解析上の取り扱い耐震設計上の設定としては妥当であるというふうに考えていることを記載しております。
0:57:38	引き続きですね資料 6 ということで追加で提出させていただいた全応力解析で動的変形特性を変化させた場合の影響ということで説明させていただきます。こちら仙台からお願いいたします。
0:57:58	ルート部分のことですと指導力に基づいて説明させていただきます。これは応答先ほどサイトウしろによるに対する補足ということにざる解析の結果を載せたものですが、すみませんスキーム冒頭指導取るっていうする必要があったので、ちょっと教頭飛ぶ。
0:58:17	今は載っておりましたのでそこ資料 16 のタイトルが若干ちょっとずれて表現持ってますし、申し上げます。資料の中について説明をさせていただきますと、本児クラス分け
0:58:34	ワークスオービット文章の一番レートする云々って、新聞高さが高い斜面ですけどもこれについて、当動的変形特性を主権会議で設定してもらおうと滑り安全率についてと。
0:58:52	そのページの変化ケースとして倒産計算をしております。
0:58:58	規模係数に示しますとおり、そうそうとしまして取りまとめをしますのはなんかを解いて 0 件、
0:59:06	一番小さかったんですけどもそれに対して等再計算をしたところと 1.6 というような安全率のしおります。
0:59:16	続きまして 4 ページ、3 通のところですけども、当期
0:59:22	時刻歴解析ノズル解析について応答解析を行っております。投票を止まる委員がすべて mol 等というものでされている排気塔いろんな固縛と一番の業者部になります。
0:59:40	こちらにつきましても動的におけるトピックスを高騰照査をし直しております。結果は 5 分時分布ページ A と記載しております。すみません、ちょっとこの部分かぶってます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:58	そうですね。誤記ものですがけれども等々、
1:00:03	表サボ失う。
1:00:05	そういうという件数が多いとですね側壁と底盤の専門耐力運営とちょっと転記ミスがございまして、正しくは 9074 のところは 1103、
1:00:20	1640－1660、それと正しい数値になります。昨日例ですね、品質ヒアリング資料の品質数をちょっと低下しているという御指摘があったところでちょっとこういうような
1:00:37	事象が生じるしまう部分の小計の 1000 こういう品質向上に努めて参りますので、一つ目は、今回、ここで訂正をさせていただきますと称するチームにつきましてはイトウの運転ゼロ小さな例えばシースの値となっております。
1:00:57	うん。
1:00:59	照査結果等々、5 ページ。
1:01:02	6 ページにいろいろと記載の通り、応答
1:01:06	新しく閉店かケーシングホワイトする低という分岐通ります説明は以上になります。
1:01:18	規制庁フジワラです。ちょっとサイトウしてもらったと、資料 4 のですねさつきから説明割愛施設、ちょっと申し上げたちょっと' 抵当ですから、記載の適正化以外のやつは一応該当箇所をちょっと
1:01:35	見ながらちょっと説明をいただきたい人二つ少ないさつき関お願いできますか。
1:01:42	すみませんでした。で終わってですね
1:01:48	まず回答整理表の 104 番、セメント改良度と改良地盤を区分した理由について施工範囲呼べ施工方法の差異踏まえ説明するというので、再びええと地盤の支持性能についての補足説明資料をご覧ください。
1:02:09	2 ページにつきましてちょっと改定番号の都合で黄色マーカー外れちゃっているんですけども、
1:02:18	2 ページのした。
1:02:24	の段落につきまして、
1:02:26	敷地の地盤のうち、CFDそれからもう一度
1:02:35	補足説明資料を
1:02:38	の
1:02:41	傍聴低のほうではなくて地盤の支持性能の補足説明資料になります。
1:02:51	すみません、番号が変わってしまってすみません。
1:02:57	2 ページになります。
1:02:59	2 ページの一番下の段落で

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:03	岩盤及びもイトウ及び旧表土の一部をマンメイドロックに置き換えているっていうのは前回も書いていたんですが、もう一度及び旧表土の一部について構造物の支持または変形抑制のために改良地盤、セメント改良投影とコンクリートと置換
1:03:20	それからセメントkmほど指導に置き換えていますと、冷凍施工範囲は事故の後の図に示しておりますして施工方法をまた別途示しているということで特に多く使ってます改良地盤は高圧噴射攪拌工法
1:03:39	それからセメント改良とは尺度にセメント混合して製造した改良とにより造成する工法ということで、施工条件に合わせて使い分けているということでございます。
1:03:51	図面につきましては 3.1-26 ということですので、
1:03:59	22 ページをお願いいたします。
1:04:12	こちらがちょっと資料提出通知の関係で前回のちょっと会合資料の形になっておりますけれどもちょっとこれにつきましても
1:04:25	最後の資料の方修正したものを後で反映させていただきたいと思います。こちらに改良地盤、それから、志免とか医療等、セメント改良と
1:04:36	一番としては防潮低のaと鋼管式鉛直平均の海側にあるような形になっておりますけれどもその配置を主に示しております。深江と一部ですけれども、コンクリート地観光そういったセメント系戻し等を使っております。
1:04:51	次の 23 ページに、
1:04:55	各その地盤改良の方法の施工方法につきまして書いておまして、改良地盤につきましては右側の海洋の最後にありますように、地上構造物それから埋設構造物等があつて、
1:05:12	解釈が困難な場所に採用しておりますS面とか移動等につきましては
1:05:18	右の図にありますように
1:05:21	バックホウ等で明かりで造成する形になっておりますので、
1:05:29	明かりで工事できるところに採用制度ということでございます。
1:05:33	次のコンクリートと置換高はこれは具体的には取水口の横で使っておりますけれども、
1:05:42	高圧噴射攪拌工法ではstage等があつて、困難な場所に採用していると、それから最後のセメント系埋戻し後につきましては、
1:05:53	もう自動とかでは埋戻し等が十分にできないようなところにつきましてセメント系戻しをどう使っているというような形がになってございます。
1:06:09	このコメントにつきましては以上です。続きまして、その次の
1:06:21	No.105 につきましては、仙台の方でダテさんいらっしゃいますでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:34	東部電力の流れですがこちらの 105 番につきましては私の方が説明させていただきます。
1:06:41	教育長のプランのコメントにつきましては浸透流解析の共同情報資産の公募についてをして議を解析定常解析定常改正分設定状況がわかるようにということと記載のほう充実させてもらいます。資料のほうですね、5 番の指導も 50
1:07:01	ページのお開きください。
1:07:10	こちらですねほぼ新統応力平均
1:07:15	資料のところですね研修期間とこう状況等の設定を説明しておるんですが、こちらにつきましては注記のところですね。定常状態に初期状態を作るときに定常状態。
1:07:31	応募を考慮した公用ですね評価されまして、初期状態をつくってございます。そっちのときに水が考慮しておると発散を考え方を表中期中に記載させていただいております、底部エレベーターの段差を考慮するための方法としましては、
1:07:49	アマノを用いているというふうに記載してございます。
1:07:56	どうも途中勤務では人両方とも常温さんの考え方を記載してございまして、こちらがこれ状態の設定
1:08:05	質問書をですね削減するための就職を持っていると記載をしてございます。
1:08:17	はい。
1:08:19	ちょっと 100 年のコメントにつきましては以上になります。
1:08:24	はい。説明以上になります。
1:08:29	はい。規制庁フジワラです。説明ありがとうございます。質疑のほうに入りたいと思いますがちょっと
1:08:37	今回の時 関係ちゅうのKaseちょっと私のほうから 1 点ちょっと申し上げたいとか、
1:08:46	構造でとですね、私のほうが申し上げたいのが、そういう意味ではですね今回私どももいろんなスティックPO指摘とか事実確認をさせていただいてそれを一応コメント等内容ということで、
1:09:03	資料 4 で整理いただいているんで。
1:09:06	結構これのう堰というのは大分前からやってまして、例えば、
1:09:10	4、44 番のコメントですかね、何ページだろう、これは 8 ページ。
1:09:17	資料を 4-8 ページで 44 番において、それともとは何かこうなんですかねこういった一次モデル。
1:09:29	の来さ考え方ちゅうのが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:32	要は設計として売れるけど保守的なんですかねというところが多分一番の大元の何かコメントを落として、これが一番のスタートポイントですね。
1:09:43	じゃあその設計の保守性をどう表現するのか。
1:09:47	いうところで、私どもからは、より細かい記載の
1:09:52	内容の確認っていうのを、例えばNo.73 ですかこの 14 ページのNo.73 だったりですね、或いは何かそれ以降にも結構たくさんあると思うんですけども、作業何が言いたいかっていうと、今回お示しいただいた資料っていうのは、
1:10:10	多分、一番最後に我々が何かこれをちょっと出して、
1:10:14	今出して欲しいというのを多分志願多分整理をなされているとは思いますが、逆にそれがよりちょっとなんか非常に細かいところに立ち入り継ぎ手なんか本当に確認したいことは何だったのかというのがなかなかちょっとわかりづらいところになってきてございますので、
1:10:30	そういったことをちょっと 1 回ちょっと振り出しに戻った方がいいんじゃないかというのちょっと私の方からの
1:10:36	提案させていただいてますんで、何をやっていただけたほうがいいのかといいますと、やっぱり設計の保守性ですので、試験で確認できないところについては、設計上どういうふうな配慮して、どういった保守性をだろ見込んでるのかで、
1:10:53	それに対してどういうふうな事実がどうなってるのかっていうのは、やっぱりの体系が規定の中の整理された方がよからうとで私どもも結構散発的に確かコメント出しているところもございますけども、一旦そういったコメント等ですね体系立ててちょっと
1:11:11	ずっと確認した上で、設計のプロセス持つ保守性という主眼にちょっともうちょっと組み立てていた他ほかの何かよりいいんじゃないかなっていうふうに考えてさいます。はい。
1:11:25	ふうん。そうですね、要は、
1:11:28	そうですね。結構今回いただいた。
1:11:32	なんですが、資料提出後試料五霞資料 5 の一番最後のページ、参考 26-25 とかでまとめて書いてありますけれども、
1:11:42	多分ですね、このまとめだけをぱっと見て本当にまとまっている家庭とやっぱりちょっとなかなかわかりづらいところがあって、うん。
1:11:50	それから多分なかなかをロジックやとっていきやすいですので、そういったところをちょっと

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:58	ちょっとフローダテて自分ところの重要なりにこう手厚くやるますし、言いようはちょっと若干外れるところもちょっといや軽重を踏まえてですね、御説明された方がよかろうと。
1:12:12	そういった体系立てた説明の中には当然
1:12:17	今ちょっとそもそも事案とかですね要は我々技術基準適合の観点からマイク弱をよく用いられているけど、そうじゃなくとしてそれをどういうふうなことがやってるかどうかですね。
1:12:31	もっと言うと
1:12:33	なんだろう。
1:12:34	ちょっと私の趣旨、理解の範囲で言いますと今回の話っていうのは、例えば斜面滑り解析だけで申し上げますと、地震の応答の解析というフェーズと、あとそれを受けたその滑りの評価っていうのが多分あるかと思えますけども、
1:12:51	それぞれにおいて、ジャック等でどういうふうななってるかで、それに用いるとそれぞれの物性ですから、例えば、
1:13:01	動的機能の物性値と或いは滑りの評価に用いその一
1:13:07	定期滑りのあれですかねとし、 ϕ 関係ですかわいいの分野弱でやってるかどうかそこら辺がちゃんとやった上で、何か整理しないとなかなかちょっと試作しづらいのかなというところもあって、
1:13:24	いよいよ最後に私が申し上げたの例だと私は一番痛いのは要は
1:13:29	ちゃんと体系立てて、
1:13:32	説明して欲しいという、その設計の保守性ですね、その点いかがでしょうか。
1:13:41	はい、東北電力の橋本です。Kmという課題の発端が
1:13:50	有効力解析における設定が保守的或いは妥当といえるのかということが出発点だったということは認識しております。おっしゃれ等でちょっとそれぞれになっていますか。並列でちょっと答えた違法な構成になってしまっているので、
1:14:09	流れとして少しわかりにくくなっているところがあるかと思えますので
1:14:17	設計の保守性という観点を重要視して少し構成自体を見直して脇にあるようなものが例えば参考のほうで巻末につけるとかですね、ちょっとそういった構成の
1:14:32	組み直しを少し検討させていただきたいと思えます。
1:14:37	JEAC例えばということなんですけれども高橋部長の江崎ですけどちょっと話はして、それを挟みますけど。
1:14:48	実はそういうことではなくてね、基本的に言うと、コメント資料の2ページ目の町ですよ。8番の主要8番のコメント港から発生してるんですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:01	いわゆる動的せん断弾性係数及び減衰定数のひずみ依存性について、試験結果を
1:15:07	大体、値を超える評価結果あるかどうか確認することってということで、いわゆるD/G0が、いわゆる
1:15:16	1%近く
1:15:19	一応ね、0.1%から1%/0.2%以上は、
1:15:24	市のプロットがないわけですよ。そこ操作キーに関してはどのような設計的な対応をするのかで裾それとまず試験結果がなぜられていないのかっていうことから始まってきてるわけですよ。
1:15:40	そこからすべてリンクしてきているので、これも今は別に、
1:15:45	聞こえてますか。
1:15:47	ちょっと読んでみて、
1:15:50	はい、エザキさんの声よく聞こえております。
1:15:54	いわゆる参考資料16と。
1:15:57	なんだっけ。
1:15:58	そのあとの
1:16:02	26に分断されちゃってるんですよだからこれを待つ。
1:16:07	一つのコメントから発生していつている関連コメントというか、追加コメントなっているんで、基本的に、それら一つ
1:16:17	パッケージ化しないと話が繋がらない話が繋がらない。だから何をやっているかが、あと、ここのヒアリングで谷現場でしかわからないような状態の資料になってるっていうのが、
1:16:30	一つです。
1:16:32	参考資料26-1ページの参考26-1ページを開いていただくと、まずこのフローをまず
1:16:44	もう一度考え直してみて、いわゆる
1:16:51	いわゆる欠損しているというか、いわゆる大ひずみ領域がの地場自動まあ1ガンマがないといったことに対して何が。
1:17:02	課題になってるということで、課題がコメントなってるわけですよそれを
1:17:07	もうちょっと分析していただいて、それに対してどのような説明またはそのアプローチをすれば、それが妥当だという立証できるかというようなフローチャートを組み立てていただければ、多分、
1:17:22	いう話がかみ合ってくるんだと思うんですよ。今の状態だという点と点が、要はベントに対して、一問一答形式で
1:17:31	書いてしまっているんで、実際の繋がりが見えなくなっているんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:37	この辺でハシモトさん理解できますか。
1:17:41	私の言ってることが、
1:17:43	東北電力のハシモトです趣旨は理解いたしましてちょっとどういうフローにすればいいかの具体像はちょっとまだできてないですけどもはい、そういう状況です。そうそうというか、そのいわゆるなぜなぜ私のイメージはフロートフローなんだけど。
1:17:59	いわゆる品質保証できるワタナベ分析みたいなああいうようなイメージで作っていくと。
1:18:07	いわゆるその出てきた課題を抽出してその架台というそのアプローチがあって、そこにある結論があって最終的に総合的判断としてどういう評価になるかっていうな話になってくると思うんですよね。そういうな人ローリング論理構築を
1:18:22	わかるような組み立てをしたほうがいいと僕は思ってますので1個1個のものは否定するものではないんですけど、今は1個1個の説明がベント点て点在しちゃっているだけで、
1:18:35	線に繋がってないような感じがしますが、今後資料としてはそういうこともあるのでもう一度試験をフジワラが言ったようにですね、一番最初の出だしから立ち返っていただいて、どう最終的に整理すればいいのかなっていうのを考えていただくのが、
1:18:51	重要なかなと思ってます。
1:18:54	それで端的に言うと省くとしたらですね、ここで説明するものではないのかなっていうのはフローチャートでは、液状化の強度試験の要素シミュレーションとかですねこの類ですね。
1:19:08	これは別のところで使う用途大事なファクターになってくると思うんで、ただここに関しては地場自動お話しでは、
1:19:16	特に
1:19:18	関連性は
1:19:21	薄いですよ。だから、すぐはちょっとハシモトが密閉技術別の資料としてまとめてもらったほうがいいと思います。私からは以上です。
1:19:33	はい、東北電力の橋本です。まず何を解決するかというところを出だしの
1:19:43	動的変形試験で直接データがとれていないところの設定をどのようにするのか。
1:19:51	そしてまたその設定が設計上は保守的で問題ないといえるのかということを決済するためにどのようなストーリーで

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:05	資料を説明上構築していくかというふうに理解いたしました後、ちょっとおっしゃる通りですいませんほかの参考資料のところの
1:20:17	含めた改正までちょっと手がおよんでいませんでしたので、それらの構成も含めてそこは再構成したいと思います。
1:20:28	ほかに系統答えについて特に本店から何かフォローありますでしょうか。
1:20:42	ないようでしたらあれですけど、すいませんベンノですけども、よろしいでしょうか。
1:20:50	すみません、東北電力ベンノでございます。申し訳ございませんちょっと前回までに議論を確認をさせていただいた内容でちょっと硬質骨子してしまったところがあって、特に参考資料 26 のフローに関しては、
1:21:05	これまでの悲しいをですね一つ回答方式でちょっと作らせてつくってしまったの私のほうのちょっと判断もありまして大変申し訳ございません。おっしゃる通りですねもとのスタートは
1:21:20	歪量が超えてる範囲の物性値の
1:21:24	設定の仕方から
1:21:27	保守的なのかというところがの御指摘だったというのはご指摘の通りでございます、今回のパーツでさハシモとよく相談をしてですね、考えて参りますけれども一通りを一つ一つのネタはですね今回
1:21:43	十分ではないかもしれませんが、kAなんていうか、積み上げているような状況だと私は思っております、ただ、例えば今 26 ページ目の一番最初にあるフローで言うならば、時パーゼロの話で超えてるところはどこですかというところがまず第 3 章に書いてあるが、
1:22:01	解析上の発想ひずみとしてこういうところが超えておりますというところまずきちんと事実としてお示ししているその大して線の違いはそもそもどういうふうにやってるんですかっていうことについては、第 4 章に書いてあるような既往文献、さらには今のフジワラさんからもですね一つのしさとしてJAB或いはじゃぐでどういうふう
1:22:21	何かやってるのかっていうのがそれぞれ解析毎で分類が必要だと思いますけれども、そういったことを整理してその結果として、従来であればここまではその通りになっている。そこが補えないところについてはこういうふうを設定するという事実をはっきりとしてこういうる部分については第 2 章に会計上の試験状態。
1:22:40	さらにはそれを変更させたとしても第 6 章と第 5 章の一部ですね、そういったところで問題がないようで、結果的には我々の物性値の設定としては保守性に設定されているというようなストーリーで今エザキさん、或いはフジワラさん

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	からいただいたコメントを踏まえて私のほうでちょっと頭に描いておりますけど。
1:23:00	イメージとしてはそのような感じでちょっと考えてまたきちんと取りまとめさせていただきたいと思います。それからそれに対してご示唆いただける点がありましたらよろしく願いいたします。
1:23:16	規制庁エザキですけども、多分ですね。
1:23:22	まずそのデータが超えるといったところがあって、まずどういう試験。
1:23:28	状態で試験として試験条件つけ方法としては妥当なんだっていう話がすでに認証とかで書いてますよね。そういった話があって、実際にはその解析上のひずみの部分っていうのが実際に動いてるところがあって使っちゃってると。
1:23:44	いう話がありますんでそこでは、改めて課題が出てくるわけですよね。だから
1:23:50	いわゆるひずみがそうで再解析してるところに関しては試験結果率は試験としては、
1:23:58	妥当な試験をしてるけども、られていないところが位相的に使っちゃっているとその階層的なところはどのように想定してるんですかっていったときに、まずその前へ説明していただいたように
1:24:11	フラッシュ
1:24:13	あと、フィードアップ。
1:24:15	フリップそれぞれ表現の仕方が違うんですよね。
1:24:22	骨格曲線の話がそこからまたそれを説明した上でさらにそこからまだ課題が出てくるわけですよねっていうのは、基本的には全応力と有効応力では、国家曲線が違うという話があってそこでまた課題が出てきてそうした課題を全部
1:24:42	抽出した上で、そうそうそれぞれの課題に対して、
1:24:49	大きな課題が幾つかテーマがあるんだと思いますってふうなかで分析していくとさらに細かい説明しなきゃいけない。
1:24:59	技術ポイントが出てくると、そういった仕組みになってくると思うんですよねだから
1:25:04	そういったことがある程度わかるような形に、まず、
1:25:10	整理フローみたいなのがちょっと整理していただければ。
1:25:14	ダテガクガク増えるんじゃないかなと思うんですが、いかがですか。
1:25:19	はい、東北電力ベンノでございます。ありがとうございます。これまでも飛び飛び例えば地下水のときもですね、いろいろちょっと同じような過ちで全体像が見えないまま一つ一つ返っていて、会合に至るまでの間にですねいろいろ我々としても、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:36	そういったことを繰り返してことで、模擬申し上げますいただければこれまでも繰り返しいたいてるようなその全体像としてもそのマッピングというのか或いはプロフィールがちょっと名前はあれですけどエザキさんのおっしゃってる通りそれぞれ一つ一つ
1:25:53	仮定を置いているところにおいての問題点とそれに対して我々がどういうふうに対応して、結果的には解析上保守的に設定になっているので問題ないのではないかという判断しているフローですね、その辺について、米国PGに書いてあるフローちょっともう1回改めて作り直してそれに当てはめ
1:26:12	でしよう構成をして、それに溢れたものについては別の回答例えばご示唆いただいたような第5章の事業化シミュレーションとかについてはちょっと紙出させて違うところとかいうふうなちょっとそういうような整理を一緒になってやっていた会社というのは私どもの社内で一緒になってやっていただきたい。やらせていただきたいと思っております。以上です。
1:26:34	既設だけです。さっき言ったように、一番最初前段のところから、
1:26:40	No.8 でしたっけ、あそこのコメントをとところから府含めて説明に入っていたほうが良いと思いますのでよろしく願います。
1:26:51	ペンノでございます。承知いたしました。
1:27:03	規制庁フジワラです。この件に関して、ちょっと一旦ちょっとまた細かいところは今いろいろ確認したことあるかもしれんすけど、とりあえず、多分そういった対比整理を待ってからそれによって多分やったほうが良いような気もしますが、
1:27:20	それを踏まえてちょっと何か今現時点でこれ確認しておいたほうが良いっていうのが規制庁側のほうであれば、
1:27:27	願います。
1:27:39	別にフジワラさんとか、あと、
1:27:44	スギハラさんのコメントで次、いろいろと確認したいこととかっていうことは、
1:27:50	傷が事実確認とかですとあると思うんでそれは聞いていただいたほうが良いと思うんですけどちょっと私のほうで先に事実確認させていただくと参考 26-11-13-4 の両括弧 2、
1:28:05	これ排気塔連絡ダクトなんですよねこれて英語の解析でやってるじゃないですか。
1:28:12	これでもともということさっきの会合資料、
1:28:17	その中では、その排気塔連絡ダクトの土砂部っていうのは有効解析の対象断面としてですが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:25	なぜこう全応力解析をやっているのかなっていうのはちょっと不思議だったんですけど、ここをちょっと説明いただけますでしょうか。
1:28:35	リトルます等々と処分をご指摘を通るルートを有効応力解析を追加で実施しているところでありますけれども、
1:28:47	キクチ
1:28:49	すみません。
1:28:53	それと、
1:28:54	規制庁エザキですねここっていうのは多分今設計図書に
1:29:00	実際使ってるひずみとしてはどうなんだっていうことを書いてあるのかなと思ったんですよだから多分ちょっとこれわかりにくいんですけど、参考資料の 26-9 とか 10 がこれアクセスルートの話なんで。
1:29:15	多分フラッシュなんですよ 10 日前応力解析と書いてあるけど等価線形解析フラッシュの形ですよ。週末を溶かしていうか、
1:29:23	それで一方で、そういう前のほぼ 26-8 ページは、これはFLIPなってるわけですよ実際やってるように、この辺が設計の時に実際に使って、
1:29:37	るもの自身で出てくる発生値を
1:29:42	見た上で、大体ひずみの領域がどのぐらいかというふうに
1:29:48	説明しようとしてるのかなと思ったんですけどそうではないんですか。
1:30:01	すみません、回答できます。
1:30:06	FLIP東北電力ハシモトです。
1:30:10	8 ページの有効応力解析がおっしゃる通りで実際の設計に用いている。
1:30:16	物の結果として森どの地下水線のひずみがどのぐらい発生しているかを示したのになってございます。以上です。
1:30:29	そもそも農協部分です。そうしますと、操作のちょっとこちらのひずみ値
1:30:36	移送してるんですけども、公式に無投票として打とう調停の解析が出ていて、あと 0 戸籍法令と等価線形代表としてトークス数と 0 というですね。
1:30:51	ここで経営してる経営の代表としているというよりは人連絡ダクトの土砂部分が最も一番最も影響があるということで代表断面として選んでお示しをしているという位置付け。
1:31:04	思います。以上です。
1:31:23	すみません、他のところで相当程度使っているところで、もうちょっと代表的なところでないんですかね。
1:31:31	だから、実際の設計が出てきてる値のほうがいいと思うんですけどね。
1:31:36	だから、位置付けがよくわからないですよこれね。
1:31:40	実際このFLIPでやられるわけですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:44	いわゆるTBWの代表として14の図3-4があるのであれば、実際2位工認図書というか設計の中では、
1:31:55	スピードアップ出てくるかもしれないけど、両方やるということで、
1:32:00	何となく部ですよね。曖昧なような感じがしますが、ここが一番スピーディだ っと中でも比率はひずみが出てくるような
1:32:10	1だっていうことであればそれはいたし方ないかなと思いますけど、その辺をち よっと説明はちよっと言えたほうがいいんじゃないかと思いますけど。
1:32:19	ちよっと目論見通す等の対応いたしましたけどもルーターの出ているので紛 らわしいということだというふうに思います。内波のシノ副市長条件組気相など とMR合ってるのかとって同じく周り全部
1:32:37	自動でモデル化しておりますので、また、
1:32:42	100設備象として、やっぱの孔壁登録時のようにと太陽光については前年比 付ダテでなくて上の方が公務の深さを保ちとひずみが出ているところで多分、 多分というか、同じ状況だと思いますので、
1:32:57	後ろの次追加資料でお示しをしたと種豚防滴OK
1:33:08	特性を
1:33:10	並行してメールの照査結果っていうのは、
1:33:13	そこんとこ入っとななくてますので、ちよっとその辺も含めて検討させていただ きます。以上です。
1:33:52	すみません。
1:33:55	ますか。
1:33:58	規制庁スギハラです。
1:34:01	今日いただいた資料の中でちよっと前からちよっと気になってたとかあったんです けど。
1:34:08	森どの液状化試験のですね、結果を説明したところ、介護資料の例えば18ペ ージ。
1:34:18	ですかね。
1:34:22	これの試験結果カーが出てるんですけど。
1:34:27	これは今液状化試験やられて歪なんかの現象は出たものの液状化完全な液 状化には至ってないよっていうことで出されてる資料ですよ。
1:34:39	それで、これは試験や最終的には550回ぐらいの最下で終わって、
1:34:48	その時にですね、ひずみ量とそれから試験後の供試体っていう写真が出て るんですけど。
1:34:56	これは150回のこれ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:01	再開をしてですね応力制度でやってるんでしょうけど、その結果として徐々に間隙水圧がずっと
1:35:11	出てきて、
1:35:12	それで、
1:35:14	有効応力は減少していったひずみ量がどんどん増えていった、150回迎えましたというのはそういうことですよ。これ試験終わった後にですね。
1:35:28	150回の差異化が終わった後に、要するに、
1:35:32	10%までいかないけれど、
1:35:38	最大のせん断ひずみとして8/8%が9%ぐらいの
1:35:45	最大ひずみになってい現力したから、
1:35:49	残留ひずみが出てるわけですよこれ。
1:35:55	当然ひずみがゼロになってないわけだよ。そう解釈として解釈するか試験後の供試体を見たら、
1:36:02	供試体そのものは、
1:36:05	自立している破断してるような状況ではないけれど、
1:36:10	ちょっと遅れてみたいなどありますよね。
1:36:15	それが供試体としては変形してて、
1:36:23	どこら辺ぐらいで止まってるか知らないけれど、
1:36:27	最大と思っても8%ぐらいの残留ひずみは残ったと、そういうことでよろしいですねこの解釈としては、
1:36:40	やはり東北電力の発信元です。概ねその御理解でいいと思いますが1点だけ
1:36:47	軸ひずみについては両振幅で10%になるところで止めているということでございます。
1:36:56	はい。
1:36:57	です。
1:37:02	この自立ってということが書かれてるんですけども、事実として認識するときは、
1:37:09	それのかなりの残留ひずみが生じますよと、そういうことですよ。
1:37:15	はい。
1:37:37	はい、東北電力のように、
1:37:43	これで見ますと150回繰り返した後に、最後、
1:37:48	ひずみと繰り返し改正のグラフが、
1:37:52	ありますが、ここで軸ひずみルート2%ぐらい。
1:37:57	でせん断ひずみに関する3%ですけどこれぐらいの残留が出てると8から9%の軸ひずみでこれ引っ張り存じてますけどこれは応力かけたときに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:10	での最大でして残留としては2%ぐらいのひずみになっているということになります。
1:38:17	以上です。
1:38:21	わかりました。
1:38:25	今日のお話前さっきからお話ありましたけども
1:38:32	ふうん設計的に補修性の確保というところですね。
1:38:40	ちょっと今おったんですけど、
1:38:44	乾燥そのドアツ—観点。
1:38:47	耐構造物に対する動圧っていう観点もあればですね。
1:38:51	このひずみっていう観点も、設計の際には、対象として、
1:38:58	あるものはあるんじゃないかなっていうそこら辺はちょっと
1:39:04	注意しとこう必要があるんじゃないかなとちょっとそういう感想を持ちました。すみません。
1:39:09	どうぞ参考にさせていただければということです。
1:39:15	東北電力のハシモトでちょっと確認なんですけど、のひずみ発生するんですけどもそれが影響するのは、例えば地盤安定性とかそういう
1:39:27	時にという趣旨という理解で合ってますでしょうか。すみませんスギハラです。例えば斜面等ですね、そういう° 鉋物の場合に、ひずみっていう観点は必要がある場合があるかなっていうふうにならないうちにちょっと発送した。
1:39:45	だけです。ちょっと具体的にどういうふうになるかっていうのはちょっと私も今はつきり申し上げられないんですけど。
1:39:52	以上です。
1:40:06	はい、東北電力の橋本です。この件について本店から何か確認事項ありますでしょうか。
1:40:17	。
1:40:18	登録といいますところはあります。
1:40:33	規制庁のエザキですけども。
1:40:35	それからもう1点ちょっと確認してもらってもいいでしょうか。
1:40:41	はい、エザキさんよろしくお願ひします。
1:40:44	参考 26—14 ページの
1:40:47	4—3 のまとめに書いてある。
1:40:50	また書きのところですね、4.2 によりっていうところで、ここはGHQモデルで、
1:40:58	それは基本的には静的強度試験をもとに基づき設定すると。それでは実験、
1:41:07	特にかからですね。そう方法は有効性を示されているという話になってますよね。それと今回設計を今回使っているですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:20	モデル。
1:41:21	とどうか、関連性があるのかなっていうちょっとわかりにくくて、
1:41:26	この文章だけ読んじゃって高額改定はあるけども、
1:41:31	だけどもう壮大ひずみ領域でGHモデルも含めてなんだろうなど。
1:41:39	今回ちょっと提示されてないんですけど、アンダー資料 6-
1:41:46	1 ページ目ですか、1 ページ目で表しているように
1:41:51	右のほうですね、いわゆる検討、実際の解析用の/G0。
1:41:58	というものの
1:41:59	これは基本的には、
1:42:02	うん。
1:42:03	可能性をかなり大きい値で設定しちゃってるんですよね。GHいOJTで想定しているように、
1:42:12	連続して設定しているようなモデルでもないし、この辺の解釈ってよくわかるの関係性がわかりにくいんですけど、そこはどういう
1:42:22	趣旨で書いているのか、ちょっともう少し説明を加えていただけませんか。
1:42:39	東北電力の橋本です。
1:42:44	そう。
1:42:46	今、佐々木さんおっしゃった、
1:42:48	ウワー森との動的変形特性にはGTGを設定しているというちょっと前提があつて、
1:43:00	なんです、ちょっとそこは系統。
1:43:04	そこがわかりにくいということではなく、
1:43:10	すみませんスピードアップでG使ってますよね。
1:43:16	違うんでしたっけ。
1:43:19	おっしゃる通りです。
1:43:21	低層GHいいが、
1:43:25	11 のある種、国家曲線で曲線がある程度うまく使ってですね。フィッティングさせてるわけですよね。地場自動化も曲線に、
1:43:35	違うガンマ曲線と、
1:43:37	そうですね。
1:43:38	層厚ピッキングさせるさせるもとなつたものは別途、
1:43:45	資料 6-1 ページ目に書いてあるような
1:43:48	双方いわゆる家電どれピッチである程度
1:43:55	決めた赤い破線のところですね推定地帯ひずみ領域を推定して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:00	それを結んだ曲線で
1:44:03	犯した曲線で計算してるってことだと思うんですね。
1:44:08	で、
1:44:10	そうしたときに、
1:44:12	いわゆる
1:44:14	問題は多分、
1:44:16	1 ページ目に書いてある。
1:44:19	もう一ついうせん断強度は 30 静的な 3 軸試験で、
1:44:24	そういう静的三次元試験結果に基づいて決めてもいいのいわゆる
1:44:33	D/G0 等を課してもいいのかというところから入って定足数の説明をしようとしているんだけど、それらの説明になっているのかが読み取りづらいということなんですけど。
1:44:53	はい、東北電力の橋本です。ちょっと文献を抜粋でそのまま載せてるんだけど、これが何の説明になっているのかがちょっとわかりにくいということと理解いたしました。
1:45:12	そうですね。妥結もうちょっと補足するとね、基本的にこの静的強度動的強度の話って、そもそも地場G0 の大ひずみ量既往静的強度を
1:45:27	せん断静的せん断強度ですよ、静的 3 軸試験結果に基づいて使っているとそこに疑問を呈された。
1:45:35	注いそもそも創造でき、
1:45:38	いいな。
1:45:41	強度当選を静的な強度はそれぞれそれぞれ違うんじゃないかというコメントも出ていたわけですよそれ総合すると思うとは何かっていうと、地場G0 を改装するのに、
1:45:55	静的な 3 軸試験結果を用いてもいいのかといったところかということ議論の根底にはあるわけですよ。ただそこがわかるように説明していただかないとわかりづらいと思うんですけど、いかがでしょうか。
1:46:12	はい、東北電力の橋本です。趣旨としてはおっしゃる通り、
1:46:19	せん断共同に全金というところでそこを説明しようとしてるんですけどもどうもその辺がちょっと繋がりがわかりにくい。
1:46:28	という御指摘かと思しますので、
1:46:31	そうですね少し表現とか繋がりとか含めて、
1:46:36	再考したいと思います。
1:46:44	そうですねちょっと自分としてはその 13 ページのせん断強度に全果する骨格が設定されるというところでその辺を表現しようとはしていたんですが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:57	その辺は静的動的はちょっと飛ばして書いていることとか、
1:47:04	その辺が、
1:47:06	原因かなあと。
1:47:08	ちょっと
1:47:10	今の段階で思ってる次第です。
1:47:15	規制庁のエザキです。何となくね、これってGHEを使ってるのはいいんですけど、ジェイエフイーが復旧しちゃうアップされちゃってハードルー基自身は、多分、高基準ひずみが回るですよねその中にも提出させていて、 ϕ という、
1:47:32	物を動かすんで表現されるという話になって ϕ は、これは静的なひずみということで、
1:47:39	性的なごめんなさい、30日試験結果に基づいたものでいいんだよって話ですよね。それが多分参考資料6。
1:47:50	のところの田植え府域にさせるっていう話。
1:47:54	から来てんだらうと思うんですけど、こうした関係性の話を説明していただいたほうがいいと思っていて、受益pHをあんまり強調し過ぎちゃっ過ぎちゃって何となくGTGの妥当性を示している。
1:48:09	ただような印象しかとらえられないんで。
1:48:13	いわゆる静的せん断強度を使って得られていないひずみ領域を仮想的に推定するということが可能なんだっていうことがわかるように説明いただきたいんですね。
1:48:26	よろしくお願いします。
1:48:27	はい、東北電力の橋本です。出資すいませんようやく理解したと思います
1:48:35	ちょっとそのHDモデルに立ち返ってというか、ちょっとそもそもの議論のスタートがGTGモデルから始めてしまっていて、GTGモデルの話ばかりになってしまってる。
1:48:47	何でもそそのそのせん断強度に全金させるところの話の説明が
1:48:57	スタートが足りていないということかと思いましたが再考させていただきたいと思います。以上です。
1:49:14	スギハラです
1:49:16	4のですね、今の先が話したところで4-1のところの動的強度と静的強度の関係ということで、
1:49:26	軽くの記載があるんですけども、
1:49:30	ここも先ほどお話あったようにですね。
1:49:34	へえ。
1:49:36	夜ひずみを

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:39	試験で得られている範囲を超えるひずみ、
1:49:44	それぞれのさらに液状化の話も入ってきますんで。
1:49:48	そういう観点で設計的にどう見るかっていう、そういうふうな
1:49:54	解釈。
1:49:57	今後検討されるっていうふうに私は理解してるんですけどそれでよろしいんですよね。
1:50:08	東北電力の橋本です。
1:50:17	ネタとして動的強度が正規雇用等を下回らないエビデンスのに近いものが直接あるわけではないんですけども、
1:50:33	何といいますか。
1:50:35	今までのネタをちょっと再構成して
1:50:41	なんていいますか、説明しようとしていること等をお示していること等の関係性が今わかりにくくなっていると思うので、その辺を整理して説明しようというふうに考えてるんですがちょっと趣旨と違ってますでしょうか。
1:51:02	基本的にそれでよろしいかと思うんですけども、
1:51:07	ふうん。
1:51:09	細かいところを今ちょっと起ちちやうのはあれなんですけども。
1:51:15	大きなひずみが発生してそれで液状化の懸念もあるとかですねいろんな要素が絡んでくるんですね。
1:51:23	単純に動的強度静的強度と一般に言われているような関係ばかりだろうかというのをですね、多少やっぱり考えなきゃいけないかなっていう私はちょっとそういう気がしてるんですよ。だからそういう意味でも心配ないという結論に達すれば、それはそれでよろしいかと思うんですけども、
1:51:42	設計的な関係でどういうふうに保守的を確保していくかっていう点についてはですね。
1:51:48	ちょっと検討の対象として入れてもいいんじゃないかなっていうふうな私はそういうふうに感じてます。
1:51:58	よろしいですかね。
1:52:03	東北電力の橋本です。今スギタさんおっしゃったのはその動的教頭が静的共同を下回らないということに関しての話ということではなくてその全体的に設計の保守性をどのように示すのかという。
1:52:21	理解でよろしいでしょうか。
1:52:26	このですね、記載ちょっとこう読ませさせていただきますので、
1:52:30	指名固めた不飽和度では、繰り返し回数 100 回程度までは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:36	動的強度が静的強度を下回らないとした報告があるっていうふうに書いてありますよね。
1:52:43	ですから、この中に今当該対象としているような女川のサイトの中ではですね。
1:52:52	液状化が不飽和ではないようなところもあればですね。
1:52:57	液状化までは行けて至らなくてもひずみなんかを起こすようなところもあります。
1:53:03	それから、繰り返し回数 100 回程度まではっていうか書いてあるから、繰り返し回数が 100 回に至らないような
1:53:11	ひずみの段階で繰り返し回数の段階でかなりの大きな振幅で、振動するようなところについてはですね。
1:53:22	この 100 回程度まではっていうところが当てはまらない場合もありますように思うんですよね。そうした時にここで書かれている動的強度が静的強度を
1:53:33	下回らないとしては報告あるっていう、こういう条件と異なる条件が出てくる場合があればですね。
1:53:41	この報告をそのまま信頼するわけにはいかないですね。
1:53:47	報告の通りではないと信頼するって報告の
1:53:51	条件に該当しないようなところについては、
1:53:54	ここで書かれてるようなこれ書かれてる方は多分こういう条件だったら下回らないとしたっていうふうな科学的な報告がありますということですから、
1:54:06	そうでない場合は、これとは違うだろうということを十分予見してこれ書かれてると思うんです。
1:54:12	ですから、女川サイトのどこでそういうふうなものがあつたとすれば、
1:54:17	それを設計的にどう見るのかっていう
1:54:20	というふうな配慮をですね、変わるこのこれに対してどういうふうな回答が用意されているきちっと降雨実績理論的にこうなりますよっていうものは多分、今の技術レベルの中ではなかなか用意されてないと思うんですけど。
1:54:35	その中でどういうふうな対応をするかっていうことも、
1:54:39	考えてもいいんじゃないかなっていう、私は思ってるんですけども、いかがでしょうか。
1:54:45	はい、東北電力の橋本です。ちょっとこの 4 章につきましては直接的なエビデンス数、あんまりちょっとなどが難しいかなと思って少し記載がさ朝すぎるところがありましたので、
1:55:03	まずちょっと表現に表現というか記載についてはもう少しわかるような記載にしたいと思いますがと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:11	設計全体として、
1:55:15	例えば、
1:55:16	ここでは地下水より浅いところの人の骨格についてお話しさせていただいてるんですが液状化も含めて、全体像設計の考え方をわかるようにお示すべきかなと思いますので少し再考され
1:55:36	いただきたいと思います。以上です。
1:55:49	はい、規制庁ですけど、私のほうから資料6で2ページのほうでこれちょっと今回はちょっと若干違う質問なんかもしれないですけど、これはアクセスルートの斜面Bの解析やってるときに、
1:56:05	これは通常の等価線形解析でやられる。
1:56:10	そうですね。
1:56:11	ちょっと断面図を務めてふと思ったんですけど、ホテルなんか地下水の維新の森ろうて液状カーへ等イワダテするのか或いは繰り返し軟化するのとか、
1:56:24	いうのってなかなかこれ検討を受けて確認されたんでしたっけって近く
1:56:29	その都度お聞きしますが、いかがですか。
1:56:32	はい。
1:56:34	当分飛ばすところにつきましては前回のヒアリングを当島根導入の検討するよというコメントをいただいておりますので、現在の解析を実施している途中で回答につきましては5月24日にはアクセスルートのコメント回答ありますんでそちらです。
1:56:54	説明の予定をしております。以上です。
1:56:57	規制庁浮上ですわかりました。はい。
1:57:01	そのほか、この件に関して確認等ございましたらお願いします。
1:57:15	はい、規制庁フジワラですか。東北電さんの方から何かございますでしょうか。
1:57:23	はい。東北電力の橋本です東北電力からは特にありません。本店もよろしいでしょうか。
1:57:30	と思います。
1:57:33	はい、規制庁浮上ですわかりましたといった短期間、休憩を10分程度ちょっとささみたいと思います。40分再開でお願いします。
1:57:49	はい規制庁井沢です。どうぞヒアリング再開しますが、ちょっと前のヒアリングを前の案件にちょっとこちらのほうが1点だけ。
1:57:59	すいません先ほど地盤の申請のところ
1:58:05	実は今日のトピックのほうでですね、気分の影響についてという資料を用意していただいているんですけども。
1:58:14	そこですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:21	これ来記載の適正化ってということで、前回
1:58:28	24-5 ページのところですねちょっと申し上げたことあったんですけども、
1:58:35	ちょっとぜひ、ちょっと追加で申し訳ないんですけど、来さ充実説明性向上という観点でちょっとお願いしたいことがあります。それあの今回の森泥の試験、等についてはですね。
1:58:53	大粒径のウエキを含む含んでいるんで、先頭流動をによる調整資料ということやってるんですけども、やってられるんですけど。
1:59:06	それをですね、実際に踏まえた形でのですね、
1:59:12	そう。この粒径化石曲線
1:59:15	実際
1:59:20	13mm以上の大きな粒径については除外して
1:59:25	試験やってるわけですけども、そのことによってですね、
1:59:31	へえ。
1:59:32	実際のこの粒径化石曲線分布
1:59:36	これ女川のサイトウを無料そのものの粒径化石曲線なんですけど、実際に試験をやったときにですね銭湯粒度の
1:59:47	という方法をとった場合、またはその同等性とルートの調整の仕方、あるんであるらしいんですけども、貯槽ごとによってですねこの粒径化石の部分はずっと変わってくるんですけども、そのことをちょっと
2:00:02	参考値でも結構なんで、これをこの資料のところに追加していただきたいというふうに考えておりますが、希望しますけど、いかがでしょうか。
2:00:16	はい、東北電力の橋本です。試験したところの試験、
2:00:24	納付を資料の硫と分布についてちょっと確認したいと思いますそれから
2:00:31	粒度調整の方法についても、方法によって
2:00:37	特徴ございますのでその辺の記載をも追記させていただきたいと思います。以上です。
2:00:45	以上です。
2:00:50	はい、じゃあ、規制庁フジワラですと、その次の漂流物の衝突荷重コールも前回の審査会合で、それからエザキですけども、ちょっと参考資料 20、
2:01:03	要は、
2:01:04	に関して、ちょっとだけですね、記載の充実をお願いしたいんですけど、よろしいですか。はい、エザキさんよろしく申し上げます。参考資料の 24-7 ページ。
2:01:17	一つ目のポツのところ、委員流動及び
2:01:22	戦闘流動相似流動後、
2:01:26	キリュウどう補正予算通りっていう書き方されていて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:34	これのですね、それぞれの戦闘流動だったら、どんなことやっているのかということを表には書いては、多少要るんですけど、文章でどういったいわゆるケースですね、Case口径進めに対してがけつな向かってもちよっともう少し具体的に
2:01:51	回答いただいたほうがいいところですので、選定理由であれば、
2:01:54	最大粒径 19、それで補正してしていて掃除としては、ある程度を相似則で粒径をそろえて記載小さめにしてるんだけど、最大ある程度粒径を
2:02:10	抗議してるとかですね、この辺が多分、
2:02:14	元論文が書いてあるんじゃないかなと思うんですかねその論文見るとそういうのが書いてあるんで、そういった何をやってるかもうちよっとわかるようにわかりそう観点で、もう少し記載を充実していただけないかなと思うんですが、いかがでしょうか。
2:02:30	はい、東北電力の橋本です。おっしゃられた通りこの論文がちょっと別の論文河成回せてしまったんですがの文化だ説明として引っ張ってるところがありますので、中身と等ということをやっているかっていうのが具体的にわかるように記載を追加させていただきたいと思います。以上です。
2:02:53	いわゆるですね、エザキですけども窃盗粒度とかという言葉があまり聞きなれない言葉ですから、この辺が実際にわかるようにしていただきたいと思いますし、なります。それとですね、24-10 ページで、
2:03:07	ここでちょっと各事実確認なんですけど、基本的には前提
2:03:13	センター共同自体はそれほどあまり変わらない、もしくはやや粒径が大きくなれば多少大きくなるっていうような
2:03:21	理屈なんですけど。
2:03:23	実際にこれらの血の場合ですね、
2:03:27	弁極力
2:03:28	に関しては考察がないんでしょうか。
2:03:33	あくまでも今説明があるのは、内部摩擦角だけなんですけど、
2:03:40	粘着力に関してはあまり変わらない、それとも逆に
2:03:45	少なくなっちゃうんじゃないかなとは思いますが、いかがでしょうか。
2:03:50	はい、東北電力の橋本です。すいませんこの文献に粘着力があったかどうか。すいません今忘れてしまったんですが、先ほどの(1)の文献もあわせて粘着力に関して何かいえることがないかどうかちよっと確認させていただきたいと思います。以上です。
2:04:11	規制庁エザキです。ただですね、多分、人って粘着力ってほとんど小さくてないに等しいですよ、津波のように、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:20	何でそういったものを着目しなくていいんであればしてもらっても結構なんですけども。
2:04:27	はい、東北電力の橋本です。ちょっと記載を確認した上で
2:04:34	今おっしゃっていただいたような趣旨の記載も含めて少し検討したいと思います。以上です。
2:04:44	水張らですけども。
2:04:46	多分ですね。
2:04:48	森泥場合先頭粒度試験やってるわけですから、
2:04:53	調整資料ということになるわけですね。
2:04:55	そうしますと、供試体の作成をどういうふうにするかっていうことを
2:05:02	想像すればですね、大体
2:05:05	へえ。
2:05:07	粘着力系のものについてはですね。
2:05:11	影響が
2:05:12	多分出てくるだろうと思うんですよね。
2:05:16	例えば選定シオンみたいなものを重視するような場合だと私も現位置からサンプリングそのバーの形でサンプリングして、
2:05:26	ほかないと。
2:05:27	そういうものの影響を受けるだろうなっていう、予測はできると思うんですよね。
2:05:33	ちょっと今のエザキのコメント等、
2:05:40	考えればですねちょっと今回の流動を
2:05:49	粒度っていうのを、資料の作成の中ですね、それと関連してちょっとそこら辺のことを触れるっていうのは一つの方法かもしれませんね。
2:05:59	今回銭湯流動による試験をやる場合の供試体の作成方法を当初の影響みたいな観点で、そういう観点でちょっと付け加えと一つの方法かもしれないと思います。これ私のコメントですはい。
2:06:17	はい、東北電力の橋本です。そういったことも参考にして検討したいと思います。以上です。
2:06:32	はい、規制庁浮上のですが、よろしいですかね。
2:06:36	じゃあ、当室漂流物の
2:06:39	衝突荷重に対するへと前回の審査会合における回答の方針ですかね。
2:06:45	次々と説明をお願いします。
2:06:50	東北電力の田村です。
2:06:52	資料を

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:54	につきましては、持とうはフジワラさんからの紹介のあった三番の資料でパワーポイント形式のものになります。
2:07:07	ページをめくっていただきまして、1 ページに、
2:07:14	前回の審査会合の指摘事項とそれから回答方針について記載をさせていただいております。
2:07:22	会合での指摘事項といたしましては、当FRP船舶の軸剛性算定方法に関して衝突解析の位置付けを踏まえまして、踏まえて、妥当性、
2:07:34	それから設計の適用性、これらを分離して説明するということ。
2:07:41	特に軸剛性の算定に用いている知見の適用の考え方、それから適用範囲、こういったものについて説明するということ。
2:07:51	あと設計の適用として向性船舶を使ったりしておりますので、それとFRP船舶の構造の
2:08:00	構造形式それから材質、それから損傷モードの同等性こういったものを説明した上で、
2:08:07	軸剛性算定における物性のばらつきの構造のばらつき、
2:08:13	それから、適用している基準類衝突形態の不確かさこういうものを整理して、
2:08:20	設計最終的に設計に対する余裕を説明するというコメントいただいたというふうに認識しております。
2:08:29	これに対しての回答方針になりますが、
2:08:34	指摘事項のところに書いてあります。会合でも、
2:08:38	おっしゃられた内容を大体そのまま書いておりますけれども、
2:08:43	妥当性とあと設計の適用性という大きく二つのことを言われておまして、
2:08:49	資料を作る上で、少し勘違いのないように、矢印の隣に書いておりますけれども、
2:08:56	用いる知見の
2:08:58	落石試験が適用可能であるということについては資料上は適用性ということを使わせていただくと。
2:09:06	設計の適用性、
2:09:09	設計の適用が可能であるということのをこれ最終的には隻に対する余裕とかそういったところ、
2:09:15	ことでございますけれども、そういったことに関しては補修性という言葉を使わせていただいて、
2:09:21	資料をつくっております。
2:09:23	デート左下のほうに会合資料の3 ページを抜き出しております、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:29	これが全体のフローになりますがこの 5 章のところで、衝突荷重の算定をしておりますので、この 5 章に対して、
2:09:37	今後、回答を行っていくということを考えてございます。
2:09:43	その内容を右側のほうに書いておまして、まず適用性のほうにつきましては、
2:09:51	構成船舶等FRP船舶の構造について、主な主要な部位いいが、
2:10:01	いろいろありまして、そういったものについて、文献それから図面等で同じですよという同等ですよというようなことを説明する予定でございます。
2:10:10	それから損傷モードにつきましても、どちらも座屈強度を基準とした構造設計がされているというようなことで、こちら文献等を用いて、
2:10:22	説明する予定でございます。また台数につきましては、鋼材それからFRP
2:10:29	続いて、それぞれ物性値がどういうものかということについて説明をさせていただこうと思っております。
2:10:39	ええと保守性のほうにつきましては、
2:10:43	今ほど説明した適用性とは別に、
2:10:47	物性のばらつきというものをいろいろと整理させていただきまして、その影響がどれぐらいあって、
2:10:56	設計に対する余裕がどんなものかというようなことについて説明をさせていただこうと思っております。それから
2:11:03	FRP船舶の衝突解析につきましては、これまで先週それから 1000mmについての解析結果を載せてございましたか。
2:11:12	新たにヨコオからあった場合それから斜めから衝突した場合といったような
2:11:20	解析ケースもハの追加をして示した上で、
2:11:24	所疼痛形態の不確かさの検討というふうな位置付けを明確にした上で、
2:11:31	最終的に保守性についての説明に使うということを考えてございます。
2:11:38	2 ページ目のほうに
2:11:41	設計荷重の設定フロー、
2:11:44	書いてございまして、前面海域直近陸域それから直近海域ということで、それぞれ
2:11:52	使う式とかが少し異なっておりますので、船だけではなくて全体の荷重設定の流れを書いてございます。
2:12:01	そのうち右側の点線で囲ってる部分につきましてFRPの小型行政についての荷重設定でございまして、
2:12:12	基本的にはFEMAの 2012 を使って加重は算定いたしますが、あの先ほど説明した通り衝突解析を行って、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:21	所等をつけたいの影響を確認するというと右側のほうにフロー書いており、おりますが、こういった大きな流れでございます。
2:12:30	この点線のところについて詳細に示したのが3ページでございます、
2:12:37	今ほど説明した通り、左側にFEMAと右側のほうに点線で書いているのが衝突形態の影響ということで解析のほうになります。
2:12:47	沼津ひものほうですが、軸剛性、軸剛性算定のところで、
2:12:52	文献を
2:12:53	調査して、そこから
2:12:57	向性船舶を対象とした方法のFRPの適用性ということで、構造の同等性それから損傷モードの同等性、こういったものを考えまして、僕は会の1994を使いますということで、
2:13:14	それから強化プラスチック線規則
2:13:17	その他の知見をいろいろ調べておりますが、こういったものから構造の条件ですとか、材料の条件というものを決めて、最終的に軸剛性を算出すると。
2:13:29	一方で
2:13:31	いろいろな知見を調べた上で、
2:13:33	設定のばらつきというものがあると思いますので、そういったものは別で検討いたしまして、最終的に衝突荷重算出のところに、そのばらつきの影響を見るということで、
2:13:47	青でAと知見の適用性を示して赤系で、
2:13:52	と保守性のほうの
2:13:54	項目を示しているような状況でございます。
2:13:58	右側の衝突解析につきましては先ほども申しました通り横からの衝突と斜めからの衝突というものを追加をいたしまして、
2:14:08	最終的に所とつけたいのを、
2:14:11	影響というものを
2:14:13	確認するというところでございます。
2:14:16	4ページのほうに、
2:14:18	と適用性等その保守性を分離した場合、
2:14:22	いいのイメージを載せておりますが、4ページで書いてるのは適用性のほうの説明のイメージでございます、
2:14:32	例えばということで書いておりますが、
2:14:36	と材料物性のほうで見ていただきますと、ヤング率とあとポアソン比というのがあって、いろいろな文献が出されていると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:44	そのこの文献に書かれている数字が書いてあって、右側のほうに、その文献が適用可能かどうかということを今、
2:14:54	整理をさせていただいております。
2:14:57	この中で適用可能となったものについて、
2:15:03	荷重算定に使うということを考えておりますのでこちらについては保守性とは別でございますので、ここ、ここで設定したのものについてはその保守性が含まれてないということで、初めにその適用性だけの話をさせていただいて、
2:15:18	そのあと最終的にいろんな
2:15:22	項目について保守性を考えた場合にどうなるかというのを別でお示ししたいというふうに考えてございます。
2:15:30	はい。
2:15:31	回答方針といたしましては以上でございます。
2:15:39	はい、規制庁フジワラで説明ありがとうございます。
2:15:44	ちょっと私のほうからちょっと幾つか、まず最初にちょっと確認させてください。
2:15:51	ですからまず等、
2:15:54	NSRR衝突解析の位置付けという話があると前ありまして、
2:15:59	これとその位置付けというのは3ページ目を見たときに、
2:16:05	右側にある破線ですかね。FRP小型船舶衝突つけないによる影響の確認のその過程の中で多分何か退席を多分やってるんですよ。
2:16:17	でその解析をこの下のほうの回位ラインですか、衝突形態の影響確認云々というふうな形になって2009年に持ってきます。
2:16:31	結局所達解析LS-DYNAの居続けていったらいい。
2:16:38	これから影響確認の程度なのか、或いは何かもうちょっと設計として何かもつと場所と、ここに
2:16:45	なんか組み込まれているのかってちょっといまいわからなかったんですけどその辺と何か今どういうふうに考えているかを説明いただけますか。
2:16:57	東北電力の田村でございます。
2:17:02	衝突解析のほうで出てくる荷重
2:17:07	解析ですので、その数値としてはバシッと出てくるはくるんですけども、
2:17:17	我々としてはFEMAのほうの数字を制定としているような状況でございます、解析のほうにつきましては、例えばモデル化のところに関しては、少し
2:17:32	簡易的なものを使ったりしているので、ダイレクトに出てきたものについて、そのまま設計へ反映するというようなことは少し難しいのかなと思っておりますので、そういう意味で影響確認ということでまずさせていただいておりますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:49	その赤い矢印が 2000 の方に参っておりますけど、もしかすると、ちょっとこちら 辺も
2:17:58	ちゃんと考えなきゃいけないかなと思っておりますが、
2:18:01	1245 から 2000 に行く矢印のほうにもしかしたら入るのかなとか、ちょっとその 辺についてはもう一度考えさせていただこうかなと思っておりますが、いずれ にしても
2:18:15	解析で出てくる数字をそのまま
2:18:19	荷重の設定に使うというわけではなく、あくまで参考的な形で、その衝突形態 の
2:18:29	先週語ったほうがいいのか横からとったほうがいいのか、中身からとったほう がいいのかというようなことなのかな、どれが一番厳しいのかなというようなこ とかなというふうに考えております。
2:18:43	はい。当規制庁フジワラですイトウ前回のイトウを審査会合で示された資料の 中でするところの例でいくと 1000 線引からぶつかったパターンっていうのが示 されてその時はなんか結構タブ 1000 日長さ。
2:18:59	みたいなやつと短いから極端的に今剛性が結構大きいなど。でもただ座屈しち ゃうっていうようなこともあったりですね、或いは、
2:19:09	実際そのエンジンとか模擬しないかなと一応前回の会合終了とエンジンが仮 に作業と同等やったら、それと同じ
2:19:19	2000 ぐらい。1800 幾ら打ち合わせてたんですけども、そういった
2:19:24	なんていうか、LS-DYNAでもってこういう傾向があるから、それをもって 2002 校線引っ張るみたいな何かそういった流れてる中でもう少しあるのかとちょっと 今思ってる。
2:19:36	約そういうのがここに組み込まれるかとちょっと今、思ってるんですけど、ちょっ と今のところ入ってなかったのもその辺で何かこうお考え中の場合は、単純に こう、こういうこれだけで模擬できるとか或いは何か模擬できないものも踏まえ てそういった保守性
2:19:52	今妥当性っていうかね、設置するとこまで御中考え得るのかってのはちょっと いま一度水この辺いかがでしょうか。
2:20:04	東北電力の田村でございます。ちょっとその辺まで細かいところは、
2:20:10	まだ記載できてないかなと思っておりますが、
2:20:15	衝突形態の影響確認のところでは先週の場合、接し方だった場合どうという のがあるのか、その線引からた場合は言われた通りエンジンの影響があるよ ねとか、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:27	一つ一つのそのケースでいろいろなその考察が出てくると思いますのでそういうのも含めて、shotつけたいの影響確認ということで考えておりますので、その辺についても
2:20:39	漏れなく、
2:20:42	確認をした上で、この赤い矢印で最終的なところに反映したいというふうに思っております。
2:20:50	すいませんベンノですけどちょっと補足よろしいでしょうか。
2:20:54	はい、辨野さんお願いします。
2:20:56	はい、東北電力の上野でございます。バブラーの回答とかぶるところがあるんですけども、明確に言ってLS-DYNAそのもので設計をするという思想は従来から申し上げているおります通り、考えておりません。あくまで、
2:21:13	ぶつけか例えばこのケースで言うと、前は先週整備しか出しておりませんでした、従来から御指摘といういろいろな事実確認の場でもコメントいただいていた真横からのケースだとか津波からのケースというものを示してですね。
2:21:29	どれが一番ぶつかり方として大きなパイを示すのかというようなところを主にLS-DYNAを使おうと思っております。ただし一方で、杉江フジワラさんがおっしゃってる通り、田村も言っておりましたが、そうはそうは言っても数字が出てきません。
2:21:46	その数字が出てきた結果がですねFEMAによる算定式を上回るような値が出てきてしまうとそれはそれでおかしな話になりますので、所そういうような結果は示しておりませんから、そういった点ですね、確認という日本語を使っていたら、
2:22:05	PMO使っている流れの中で、仮にそういう衝突解析を導入したとしても、そういった面で保守性という欄に入ってくるのだと私は私たちは考えているんですけども、そういったような検証的な位置付けという意味でLS-DYNAを使ったときにはこれぐらいになるけれども、
2:22:23	我々はそういうのも含めて保守性をもって設計時としては1245になるのか或いは2000年から田村が言ってる通り、この赤い線の遮断がどっちに入ってくるかはちょっと今後検討しっかりさせていただきたいと思っておりますけど、いずれLS-DYNAっていうのは、PMの流れを補足する。
2:22:41	一つの検証材料或いは衝突解析上の1ページからごめんなさいとぶつかり方も検証という形で考えているということだと考えています。以上でございます。
2:22:55	東北電力の田村です。もう少しちょっと補足をさせていただきたいんですけどあの会合でも少し触れさせていただきましたけれども、最終的に荷重を出した後に

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:09	物の設計をしていくわけですが、その時に我々の設備の設計方針として
2:23:19	静的に与えるだとか、集中荷重で与えるということで、物を作ろうと思っていますので、そういった意味で言い回しになって衝突解析を使うということについては、
2:23:38	防潮てとかの施設側まで全部モデル化をした場合には衝突解析というのがある意味、
2:23:46	評価方法という可否評価法 ^a か何だかな解析方法とかですからそういうので使われるのかなと思いますが、今回は静的に集中荷重で物事を物を決めるという、
2:24:02	大きな設計方針がありますのでそういった意味からすると、この衝突解析というのが最終的に
2:24:10	FEMAを
2:24:11	出てくる舵を補足するようなイメージだということで考えておりますのでちょっとその辺についても少し
2:24:19	記載を
2:24:21	今後の資料に書かせていただこうかなと思います。
2:24:28	はい。
2:24:29	とりあえず、まずはちょっと位置付けあたり衝突解析の位置付けについての何かのほかに規制庁側からございましたらお願いします。
2:24:42	規制庁エザキです。私からですねちょっと1ページに関しては、ちょっと確認とりたいんですが、回答方針ですね。
2:24:51	三つ目の
2:24:54	矢羽根で、さらにつけて書いてあるところですけども、
2:24:58	あくまでも不能代数的な同等性ということを書いていただいているんですけども、確かにそう鋼材等をFRPとの薬理つやそう旭の違い。
2:25:10	いう話を説明するというふうになってはいますが、あくまでもですね。
2:25:15	二つ目の矢羽根があるようにする。
2:25:18	基本的には交付補正船舶FFRP選択も損傷モードが強度が違ってもあり得ないという話きいに多分結びつくような説明今まで受けていたと思うんですよね。ですので、
2:25:34	三つ目の矢羽のさらにというところは趣旨としてはですね同等性と、
2:25:39	という説明で、ただ、結論としては多分、そちらの今までの説明では鋼材であろうとFRPでやろうと材質的な特性は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:51	変わらない類似性があるんですね、類似性があると、いわゆる引っ張り強さとかFRPは鋼材も含めて、やはり開発の強さと面内せん断強さとかそういったもの特性として持ち得るのだと思うんですね。
2:26:07	それらはわかるように説明していただきたいなと思っています。
2:26:11	その上で多分、
2:26:15	いろいろPの相対的な特性をおうがの類似性を説明した上で、それが今度は
2:26:22	コーセーもFRP製MO
2:26:25	薄肉板厚状態になった場合には支配的な損傷モードが多分タックスになるということは普通 5 理論的な展開からしても、理解できると思うので、そういうような説明を多分されていたと思うんでそういう説明があって、
2:26:45	それでまた書きで書いてあるように、両社のを、もともとの設計期間としては、座屈強度を基準として構造設計をされているといった結びつく聞いか今まで説明があったようにですね、ここはわかりやすく説明いただきたいんだと思うんですが、
2:27:01	この辺は趣旨はご理解いただいていますでしょうか。
2:27:06	東北電力の田村です。
2:27:10	三つ目のレ点のそのさらにという所材質のところでございますが、少し私の理解が不足してるところがあって今エザキさんのコメントで、
2:27:21	理解したつもりでございます。
2:27:25	ここに書いてあるのは鋼材等FRPの物性値が違いますよということを書いていて、そういう意味合いで書いておりますが、会合等で同等性ということで以下の言われたのは
2:27:41	功罪とFRPの材料の特性が似通っている類似性があるよということをまず言った上で、ただ、物性値としては違いがあるけれども、
2:27:59	特性としては似通った部分も、
2:28:02	があるのだからそこを
2:28:06	説明をすべきだということかなと今認識をしましたが、私の認識でよろしいでしょうか。
2:28:16	規制庁のエザキでその通りです。
2:28:18	単純にですねRPTなくて単なるドラスティック後やっぱり問われちゃうわけですね、荷重をかけると、そういうものじゃなくてもっと目張りずもんだということが構造材に近いものだということがわかるように説明いただくのが肝要かなと思ってます。よろしくお願ひします。
2:28:37	東北電力の田村です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:28:40	その辺についても補足をさせていただきたいと思います。ありがとうございます。
2:28:53	僕、
2:28:55	結局除熱その他規制庁側からありますでしょうか。
2:29:13	私の会見を行って、日本語ですけど、日本語というか定義 1 ページ目の指摘事項の下の矢印で以下の通り定義っていうふうなものがありまして、
2:29:26	もともと指摘事項は何々踏まえて、妥当性と設計の適用性を分離して説明した際んで、それを今回東北電サの中で定義をちょっと以下のように考えて、
2:29:42	妥当性に反するものが用いる知見が適用可能括弧妥当であることはAO適用性で紛争が多分設計の適用性というのはイトウ設計や適用可能であることを何か保守性
2:29:57	は何か何か適用という言葉が何か入り乱れている中、どれがいいのがちょっといろいろと意見は、
2:30:06	悩ましいところがあるんですね。
2:30:10	ちょっと公募させたように私どもの用語の使い方と違うような使い方はちょっと中でもしかしていたい意思の疎通話なのかもしれない、
2:30:21	二つには私の個人的な値とこれ考えかもしんですけど、基本的に妥当性っていうとなんか
2:30:28	バスの例えばこの軸剛性を算定するのが、要は
2:30:35	設計として真っ当なんですかね値、多分私イメージの保守性のほうにちょっとイメージを持ってたんですね。一方ですね設計の適用性っていうのは、今程多様は同一同一性点ですか。要は鋼材と同等な
2:30:52	座屈Ⅱ 或いは材料とか、そういったものがあって、中には設計では、ある基準が適用、今回のFRPに適用が
2:31:02	ちょっとまあ解釈改定が適用可能なのかなってそういうイメージでちょっと私も思ってたんですね。
2:31:08	ちょっとこれはちょっと私と藤田の中種子認識の違いかもしんですけど、また求めるとか、結局一緒なんですよ。
2:31:14	要は何が言いたいかと用語は、
2:31:18	ちょっと何ていいですか指摘事項で妥当性と適用性を説明するって言ったら、最終的には定義で、
2:31:27	したとしてもその保守性を持って適用を確認したとか、或いはもちつきが適用妥当であることから、設計の適用性確認したんかも御ちゃんとしたらいいわ用語ちゃんと統一しましょうというのが私の提案でございますけれども持てと 3 ページの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:31:47	行くとフローの一番左のほうで何か青字で知見の適用性を説明。
2:31:54	これでいく中、うん。
2:31:57	今発表されていたんだろうっていうところをちょっと何か今悩ましいところがあって、
2:32:02	そこちょっと用語の使い方もちょっとすりやらずさエザキですけども、耐震
2:32:09	用いる知見が妥当であるっていうことは、例えばその実験とかそういったものが妥当な
2:32:15	科学的な、技術的なものとしてね、
2:32:20	適切な試験はされて妥当として判断できるとかそういうことで妥当性だと思うんですよ。だから一つの
2:32:27	ヤマウラのやつは知見が妥当であるという妥当性ねいろんなものに関して設計的な転嫁質問適用範囲であるかどうかとの適用性だと思うんですよ。だから、一つ目はと違っていると適用性のかなと思いますけど。
2:32:41	そういうことを言ってんですよね。
2:32:44	じゃあさんも違いますか。
2:32:47	そうで私もちょっと何か解釈やつで今イイダかの話はちょっと一つ目のチェックマーク熱が意外と妥当性であって二つのやつが適用性
2:33:03	DF
2:33:05	一つ私の説明の中にも整理ができなくて恐縮ですけど。はい。
2:33:14	妥当性っていうのは、
2:33:16	今まで我々の中で使っています。一つの総責任が
2:33:21	それから処分をある実験とか、
2:33:25	数値シミュレーション等で適切にそれが妥当であるとか的にそうした例えば強減が適用限界とかね、解析方法は解析手法が、そういったものを、例えば、
2:33:36	議事二次元的なものを三次元プラスシェアして疑似二次元的なものが三次元のもの適切に表現できているということで、それは、
2:33:47	イトウとして妥当であると、それをする設計に使う場合にはそれが設計として、もう戻れるかとかそうした。
2:33:56	なんちゅうか考えて適応範囲に入っているんですかと、これは地盤の地下構造物なので、こちらも、
2:34:05	同じ類似する、
2:34:08	泥質条件または、
2:34:11	構造条件がマッチすることで、適用範囲ですね、それは適用性だということですよ。簡単に言うとして具体的なそういうような
2:34:21	話だと思いますけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:28	東北電力の田村です。
2:34:31	ちょっと迷ってしまったのは、最終的に設計に対する余裕を説明。
2:34:39	するということがあって、そこについて
2:34:46	それも踏まえて、そこも含めて設計の適用性なのかなという解釈をしてしまっていて、今の話をちょっと踏まえると、
2:34:57	この設計に対する余裕というのは、ここで言う妥当性とか設計の適用性はちょっと一線を画しているようなものなのかなと。
2:35:08	認識を改めまして、そういう意味でいくと妥当性と設計の適用性というのはおっしゃってることはな。
2:35:17	少しまだもやっとしてますけど。わかりましたので。
2:35:21	ちょっとこの辺については、もう一度、
2:35:25	整理をさせていただきたいと思います。はい。
2:35:32	きちっとフジワラです。わかりました。
2:35:36	そのほか、今回本件に関する気づき等ございましたらお願いします。
2:35:49	規制庁の石田です。
2:35:52	ちょっと会合等の経営が少しわかっていないところは、
2:35:59	ありますけれども、
2:36:01	少しお伺いしたいのはですね。
2:36:03	これ
2:36:05	改正キーのほうに近い話になるんですけども、結局、
2:36:12	この軸剛性が、
2:36:15	算出したものが妥当であるかどうか、妥当というか適切なものであるかどうかって事をどう検証していくかっていうところになったときに、一番わかりやすいのは、
2:36:28	実証試験的なものを作ってそれと解析の結果を比較してどうであるかっていうことかなというふうに
2:36:37	思ってるところがあるんですけども、そういうような等アプローチというかですね、そういうお考えっていうのは、
2:36:46	終わりなんでしょうかそれともあくまでも
2:36:50	いろいろと知見が文献等の知見を踏まえた形での検証を行っていくということなんでしょうか。いずれちょっと教えていただけないでしょうか。
2:37:06	東北電力の田村です。
2:37:10	解析から何となくその軸剛性が、
2:37:18	変位荷重を考えたときに軸剛性が
2:37:23	出るというかわかる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:37:26	だろうから、それと
2:37:30	FEMAのほうで考えた軸剛性を比較してみてもどうかという、そういうお話。
2:37:38	理解してよろしいですか。
2:37:43	規制庁の石田です。等もちよっと単純ですね、実際のFRPの船舶模型でもいいんですけどそれを実際に期中衝突でも何でもいいのでやってみて、そこで実測してみるという。
2:37:59	ことですね、軸剛性そのものを実測してないとそれから船舶モデルに相当するような解析
2:38:09	を実施してみて、その結果両者を比較してみて、解析変えられる軸剛性とそれから試験で得られた軸剛性を比較することによって検証を行うというそういうアプローチのことですが、
2:38:23	だから、当然
2:38:26	実験試験ということを実施するということが一つ前提にはなってくるのですけれども、そういったようなことを考えですかねどうですかねということをお伺いしました。
2:38:44	東北電力の田村です。
2:38:48	ちよっと実験の話は、
2:38:52	なんて言うんですかね。マル意味
2:38:55	解析値我々の今解析でその辺を考えようと。
2:38:59	と思っている部分を少しあたりして
2:39:06	その軸剛性が正かどうかというのは3ページのFEMAのところの中でクローズする話かなと思っておりまして、
2:39:18	解析でいろいろデータが出てくるので、実効性も強引に出そうと思ったら多分出せるんだと思ってるんですけど、
2:39:28	実際にその解析Dの場合ですとダイレクトにその荷重を必要な
2:39:36	条件を入れたら荷重がそのまま出てきますので、
2:39:41	それを使うべきだなというふうに思っておりますんで、繰り返しになりますけど、
2:39:49	実験ではなくってFEMAの中で、軸剛性の設定をするところで、今ほどいろいろと議論させていただいている適用性だとかその同等性だとか、そういったものを積み上げた上で、その軸剛性がただしかろうということを我々、
2:40:07	説明をさせていただきたいというふうな位置付けでございます。以上です。
2:40:16	はい。
2:40:17	規制庁石田です。はい、了解いたしましたは、その方向で説明をさせていただきますと思います。よろしく願いいたします。
2:40:34	規制庁扶助について何かちよっと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:40:37	確認ですけども、土木学会のやつで、実行性出してるやり方、これこないだ説明があったんですけどそれはちょっと前の
2:40:48	段階で何か確か土木学会のやつは何かある1座屈したらそれ以上の力がかかりませんよみたいな話がございますそういつたに関しても何か今回の東北電さんのやり方というのは、いや、そういった非線形性みたいなやつは考慮しないような
2:41:05	確かに説明はヒアリングで使ったと思うんですよねそういったっちゃうのは、今回のこのフローの中には特にIT組み込まなかったとそういうふうに理解し深いのは土木学会のあくまでも座屈応力の算定式から実効性算出するっていう、
2:41:21	あくまでもそれだけ当面そういう理解でよろしいかったですかね。
2:41:28	東北電力の田村でございます。その辺の細かいところについてはこのフローではちょっと
2:41:34	表現しきれなくて、
2:41:37	土木学会を採用というところに説明すべきことかなと思っております、ちょっとその辺については改めて整理をさせて資料に、
2:41:48	組み込みたいと思っております。以上ですはい休憩以前わかりサイトウ要はこの3ページの保守性を説明というところがあってどういった保守性があるかなと思ったときには、そういった点がどこに組み込まれてるかちょっと今わからなかった機器施設でした。
2:42:04	私のほうは以上でして、
2:42:07	はい、その繰り返しで進むか何かこの件に関して、ご確認のある方ございますでしょうか。
2:42:21	よさそうですねとウエキその他何かございますか。
2:42:27	特にございません。
2:42:30	はい、わかりました。じゃあ、この件に関しては以上でちょっと時間がちょっとあまり言いましたので、
2:42:38	一部ちょっとコメント回答ができるものでやっていただきたいのがありまして、ちょっと無理感シリコンとあと何か返信及び2事例関係をちょっと
2:42:48	できたらやりたいなと思ってましてまだちょっとウレタンシリコンからちょっとコメントちょっと回答審議会で質疑で時間がありかと返信ねじれとか行きたいと思えます。説明それから売り冠水こんとこにねじれの話も入ってましたつけじゃあ一緒の予想ですかね。
2:43:07	それと、
2:43:09	もしよかったら説明ください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:43:13	東北電力の田村です。資料一番になります。傍聴での回答整理表の10ページのNo.20、48になります。
2:43:31	2月にいただいたコメントでございまして止水目地のうちウレタンシリコン目地について以下の項目について説明ということで、3点いただいております、1点目が、
2:43:45	津波時の設計圧力条件相当時及びそれを超える圧力条件時の評価結果、
2:43:53	それから明示を構成する各部材の要求機能損傷モードを整理して試験結果の着目点を明確にした上で試験結果に対する
2:44:04	確認結果と考察で三つ目が構成者数平均の相対変位について防潮てに対して斜め方向から津波が浸入して不均一な果汁津浪荷重が作用した場合の算出方法ということで、これがまあね事例の関係かなと思っておりますが、
2:44:24	以上三ついただいております、
2:44:28	まず一つ目の
2:44:31	圧力条件が超える場合の話についてでございまして、
2:44:37	ページが、
2:44:40	資料が、
2:44:45	うん。
2:44:46	2番の資料の
2:44:50	6.1.
2:45:03	この資料の
2:45:07	10、
2:45:09	11ページをお願いいたします。
2:45:21	6.1. 5、と止水ジョイント等の
2:45:27	試験関係の
2:45:29	資料になってございまして、
2:45:34	津波水位の設計の余裕の0.5メートルの話がありましたので、
2:45:42	0.5メートルをふやしますと設計。
2:45:48	設計水圧が今まで説明していた0.28MPaを超えてしまうので、
2:45:54	追加試験をいたしまして、今まで0.28MPaでやっていたものを全部0.30MPaの試験結果に全面的にリニューアルを实はしているということがまず前提にございます。
2:46:11	その上で、通常パターンが0.30MPaで、
2:46:17	それを超える設計圧力の場合の結果を示すということでございまして、この11ページの返答なお書きのところに書いてあります通り、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:46:30	念のため封鎖が購入した場合の状況改正密度が上がった場合ですね、こういった状況を考えますと、
2:46:39	設計を強く、
2:46:42	が今試験圧力が 0.3MPa なんですが出てくる荷重として出しましては 0.29967 という。
2:46:53	圧力になって、かなり余裕がないような状況になりますので、0.34MPa の 1 割以上。
2:47:02	ふやした水圧で試験を行っておりますので、
2:47:08	0.3 を超えるその圧力条件で 0.34 でやりましたということを記載しておりますのでこちら側の参考資料 1 に記載しております、
2:47:20	一番後ろ。
2:47:25	資料が、
2:47:31	68 ページまでございますので、その次のページに参考資料 1 ということで、
2:47:37	指導をつけてございまして、
2:47:41	設計水位を連れて 3MPa を超える水圧に対するウレタン振り込め時の性能確認試験、えっとね、34MPa についてということで記載をしております。
2:47:51	こちらについては今までなかった資料でございますので、完全に新規でこの参考資料 1 を追加したというものでございます。
2:48:00	試験位置のところで、試験条件として、今ほど説明したようなことを繰り返し書いておりますが、
2:48:11	表 1 のところを見ていただきまして、試験条件といたしましては、他のものと少し変えているところがございまして、変位量というところの伸びが減ったと通常ですと 6mm であっておるところを今回、
2:48:27	4 ミリでやってございます。その理由につきましては、その最大水圧が
2:48:33	明治の下端部でしか
2:48:37	出ない。
2:48:41	レベルが低いところの方が水圧が高くなりますので、そういった低いところで、
2:48:46	最大水圧が出ると低いところは、水圧が高いんですが変位量としてはすごく小さくなるというような状況でございまして、
2:48:55	そういった意味も含めて伸びを嫁にしているという状況でございます。
2:49:00	ただ早退変位を見ても、いずれも 4mm を超えてるようなものはございませんので、こういう多変量の試験条件でも全面的にカバーできるような条件となっております。
2:49:13	2 ページ以降に記載しているのは、本編と同じでございまして、3 ページのほうに写真 4 の設定

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:49:23	3 ページ以降ですね載せておりました、
2:49:28	10 分 20 分 30 分という形でのページを開けて載せておりました最終的に
2:49:34	8 ページのほうに、
2:49:36	評価結果を書いておりますが、
2:49:39	いずれも損傷漏えいがなかったということでございます。
2:49:43	これがまず一つ目の
2:49:47	回答でございます。
2:49:49	二つ目が、
2:49:51	振れたシリコン明示を構成する要求機能損傷モード、それから着目点とかですね、そういった内容のものでございまして、
2:50:02	同じ資料の 6.1. 5 の
2:50:08	24 ページをお願いいたします。
2:50:18	文章のほうも少し追記をさせていただいております、
2:50:23	ウレタンシリコン目地については複数の
2:50:29	構成されているということを踏まえまして、
2:50:33	それぞれの部位に対して確認する必要があるんだろうということで、荷重の伝達ですとか見系とメカニズム損傷モード、こういったものを整理した上で、
2:50:45	試験でどういうことを確認するかということを考えますと書いています。
2:50:50	で、
2:50:51	えっと次の 25 ページのほうには荷重伝達とメカニズムの血糖まとめ的なものを書いておりました、こちら前回もつけておりましたが、今回、
2:51:03	このページ以降 26 ページ以降に詳細な荷重伝達の検討しておりますのでそれを踏まえて、
2:51:09	少し修正をしております。
2:51:14	26 ページには、地震時における荷重伝達について記載をしております、
2:51:21	左上のほうからスタートをした、しております、
2:51:31	まずコーセー社製兵器が変形しますというところから、
2:51:35	シリコンがそれに伴って動いてということを①から⑤にかけて、一つの荷重伝達がどういうふう伝わっていくかということを書いていきます。
2:51:49	27 ページには津波時の荷重伝達、それから 28 ページのほうには閉と重畳時の荷重伝達を、
2:51:56	書いております。
2:51:58	来こういった荷重伝達の特徴を踏まえて、
2:52:04	29 ページのほうではそれぞれの部位の役割というものを各事象で整理をしております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:52:12	30 ページのほうでは、そういった荷重伝達と部位の役割を踏まえて、
2:52:19	要求機能と損傷モードを整理した上で、
2:52:23	試験で着目すべき点はどこかということと、あと試験で確認するのはどういうことだということを書いています。
2:52:33	31 ページからは、
2:52:35	修正少ししておりますが、
2:52:39	ウレタンシリコン目地の試験体のイメージが今まであまりわからなかったかなと思ひまして、詳細内容を出しております。
2:52:49	それから、
2:52:52	前回の説明でも少し議論になりましたが、
2:52:58	ウレタン、シリコン目地のこの試験体については、実際は、
2:53:04	上から下までシリコンで全部割れてしまっていて、試験体のようなウレタンとか演技理財がむき出しになっているような状況に、実際にはなっていないんですが、
2:53:15	今ほど説明したその試験で確認すべきことがいろいろございますので、そういった意味で輪切りにした状態で、
2:53:23	試験をしている関係で、
2:53:25	見えてる部分については、実際には
2:53:29	試験の適用範囲外であるというようなことを記載しております。
2:53:39	えっと次の
2:53:41	次のページ 33 ページからは、
2:53:49	0.5 メータープラスした。
2:53:52	形でございますので反応 0.3 名がPASCALでやりましたということで、
2:53:58	修正が入っているような状況でございます。
2:54:02	34 ページから写真を載せておまして、35 ページには、
2:54:11	水圧試験、耐圧試験をしたときの絵が少し写真が少しわかりにくいかなと思っております、
2:54:18	耐圧試験を等の状況といいますか別途試験体を作るのをちょっと詳細の設定、2 ページにわたっての設定です。
2:54:29	こういう円柱、円筒形の預金に入れてつくった試験機を作っているというような状況です。
2:54:40	37 ページから写真を載せておまして 38 ページ以降、新しい
2:54:48	試験体で 0.3MPaでやるために試験をした関係で全面的にリニューアルされているというような状況でございます。
2:54:57	最終的に

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:55:00	48 ページのほうで、二体の試験体について、いずれも損傷漏えいがありませんでしたということの判定OKですということ。それから
2:55:12	試験項目としては、先ほど整理した表の 6.1. 5-11 で、
2:55:20	確認項目がありましたので、そういったところを確認していますということを注記で書いてます。
2:55:27	それから次のページ、49 ページのほうで、
2:55:32	試験結果に対する考察を記載しております、
2:55:38	変形追従性と止水性、それから試験で確認した結果、それに対する考察というものを整理してございます。その上で閉と 50 ページのほうの
2:55:50	と許容限界をこういうふうな値に設定するということにつなげているという状況でございます。
2:55:57	二つ目の
2:55:59	説明は以上でございます。
2:56:02	三つ目の絵と斜め方向から津波が浸入した場合の影響について
2:56:09	こちらについては 6.1. 6 の資料になりますのでその次の資料になります。
2:56:20	そのの
2:56:23	巻末に参考資料 1 ということで記載をしております、6.1. 6 が 150。
2:56:32	2 ページのものでございますので、その次のページからになります。
2:56:43	前回も説明をいたしておりますが、衝突荷重が端部に当たった場合の影響と絡めて、回答させていただいておりますので、
2:56:54	二つの検討結果がございます。
2:56:57	1 ページ目のずれを見ていただきましてええと衝突荷重が
2:57:03	真ん中に当たった場合、
2:57:05	海山方向に大きくせん断方向に変位しますということで、荷重が、
2:57:11	敷地側のほうにダイレクトにかかるので大きく変形しますと、一方で、7、横に当たった場合どうなるかという次のページで、
2:57:22	上のほうの図を見ていただきまして、
2:57:24	衝突荷重が端っこのほうに当たった場合については、海山方向に傾くと同時に、
2:57:32	ねじれが発生してPlus変形が出るであろうと、もう一つが、
2:57:38	水圧のさ、斜めから津波が浸入した場合に、かたっぽは水圧型確定型と水圧が低くなると。
2:57:48	そういうときには、衝突荷重も同じように斜めからたりであるということで、こういった影響があるであるでしょということを書いています。
2:57:58	3 ページのほうに

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:58:01	ねじれの影響についてどう考えるかでございますが、
2:58:05	今回、
2:58:07	簡易的なモデルといたしまして、図-3に示すような方持ち回りで大きく変形が出るような形でモデル化しております。
2:58:17	これでね事例。
2:58:20	の変形を模擬しているような状況でございます。
2:58:25	で検討結果が次のページに載っております、
2:58:29	そうすると、1.1mmの変位が出ますということで、
2:58:36	真ん中に衝突荷重がたつた場合+1.1ミリで保守的に考えたとしても十分許容限界以内に収まる。
2:58:45	数字かなということで整理しています。
2:58:48	5ページ以降に、
2:58:50	窃盗斜めから端部に斜めからたつて水素がある場合を整理しております。
2:58:56	水位差について、6ページの下の方に、
2:59:00	Zoneせておりますが、
2:59:04	と水素がどれぐらい発生するかということを考え、当検討したものでございまして、ほとんど水素というのでないんでございますが、
2:59:13	時刻歴でほとんど出ないような状況でございますが、
2:59:16	瞬間的に最大で20cmぐらい一緒に出るということでございますので、
2:59:22	この20cmの水位差というものを考えて検討したということでございます。
2:59:29	7ページのほうに検討方法を書いておまして、最終的な答えといたしましては9ページのほうに書いておまして、
2:59:39	衝突荷重については0.6mm、それから水素については1.2mmということで、合計すると1.8mm出ますということで、こちらを
2:59:52	相対変位に加えましても十分許容限界以内におさまるということを確認しているものでございます。
2:59:59	ウレタン、シリコンの三つのコメントについては以上でございます。
3:00:23	はい、東北電力の予定して、続きまして資料1101の回答整理表のNo.でいきますと4950になります。順番的に50番のほうから説明させていただいたほうがよいかと思っておりますので、
3:00:39	50番を説明させていただいてそれに付随する49という形で、
3:00:43	御説明させていただきます。
3:00:46	50万のコメント内容としましては、コーセイ社製品系及び漂流物方向が鋼管ぐの中心から偏心して設置されていることについて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:00:56	常時、地震時及び重畳時における返信荷重の設計の反映方法と照査結果を説明することとコメントいただいております。
3:01:05	回答内容としましては、どう構成者世紀兵庫方向がこそ今後Vの中心から偏心して設置されていることについて、
3:01:14	鋼管杭の評価項目に返信果樹。
3:01:19	についての反映方法を記載して新しく設計条件として記載するとともに、
3:01:26	返信控除考慮した調査結果を示してございます。これまでは影響検討ですとか、
3:01:34	というところに加えていたんですけれども、設計条件として考慮するものとして、結果に加えることとしてございます。まず考慮方法について御説明します地震時津波重畳時それぞれ耐震計算すると強度計算書それぞれに記載してございますので、
3:01:53	それぞれで御説明させていただきます。
3:01:55	該当箇所としては、資料②番の 6.1. 1-198 ページをお願いいたします。
3:02:15	6.1. 1-198 ページ。
3:02:19	倒産。八章評価方法ということで、3.8. 1に鋼管ぐいの。
3:02:25	評価方法を記載してございますが、こちらのところで
3:02:29	2 段落目に黄色ハッチさせていただいてますけれども、漂流物方向は鋼管杭からの張り出し構造となっているので、返信箇所について別途考慮するという
3:02:39	ことで、
3:02:39	当行関係についてはこれまで曲げとせん断の照査について行いますということで記載しておりましたが、
3:02:47	それを(1)(2)で記載しておりましたが、新たに括弧三番ということで、漂流物方向による返信果樹。
3:02:54	という所。
3:02:55	賞を追加してございます。
3:02:57	で、
3:02:59	199 ページ(3)に投票率方向による返信荷重ということで、こちらの図面はここでも載せているもので、
3:03:08	ですが
3:03:11	別方向が減って張り出す形で設置されていますということを説明した上で、200 ページ以降にそれをどう果樹設計に反映することということを
3:03:22	記載してございます。200 ページ、
3:03:25	の
3:03:26	表 3-8 に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:03:28	漂流物方向による返信荷重の考慮の方法について表にまとめてございます。この考え方としては、鋼管杭に生じる応力と変位、
3:03:41	そういう二つの観点。
3:03:43	整理してございまして、動力はさらに
3:03:47	返信モーメント等ねじれ変位については汀線兆候この辺イトウ定性方向の変位、
3:03:54	計四つの観点で、
3:03:57	考慮することを検討してございます。
3:04:01	こちらについては今日計算書も同じように整理をしています。
3:04:05	地震時につきましては、まず発生する応力として返信モーメント
3:04:10	につきましては、
3:04:12	等、常時の荷重とあと鉛直加振によって鋼管ぐに返信モーメントが発生しますと、なので二次元の動解からレター鋼管杭の曲げモーメントにへんしモーメントを加算して評価をしますと、
3:04:25	いうことを考えてございます。時につきましては、
3:04:29	水平加振
3:04:31	て鋼管ぐにねじれが発生します。この図面紙面上でいきますと、
3:04:37	紙面左から右ですとか良いかヘリとかあと斜め方向に入れたときに張り出しまするのでそういったので鋼管ぐいにトルク発生事例が発生するということでありますので、
3:04:49	こちらの二次元でいろいろとどう変えられた広告にせん断力に
3:04:55	お子さんして評価する。
3:04:56	いうこととしてございます。
3:04:58	変位につきましては記載の通りでして影響が小さいということで変位については検討を省略することにしております。
3:05:07	で、それぞれの
3:05:09	評価方法
3:05:12	失礼しましたの地震につきましては、鋼管杭に生じる応力、モーメント返信モーメントとねじれの観点で評価することにしてまして。
3:05:21	以降 200 ページ等に 101 ページにそれぞれの評価方法
3:05:27	について記載してございます。
3:05:30	で、こちらに、これらにつきましては、
3:05:33	ページ戻って申し訳ございませんが 199 ページの 2 段落目にございます通り、
3:05:41	当評価を前地震動ではなくて

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:05:45	曲げ軸力系だったりせん断破壊に対する照査が最も厳しくなる断面と、あと地震動に対して、一つ実施することとしてございます。
3:05:58	こちらの結果が 306.1. 1-382 ページ。
3:06:05	に記載をしてございます。
3:06:13	382 ページ。
3:06:16	4.2. 3 漂流物防護工の返信荷重ということで、4.2. 1 が曲げ 4.2. 2 が川内になります。
3:06:26	4.2. 3 で返信荷重ということで先ほど考慮することとした返信モーメント等に重量力に対する
3:06:33	調査を実施しております。返信面との結果については、表 4.2-3 にございまして、
3:06:39	あと、一番地震時厳しくなりますのが、照査値 0.52 なんですけれども、それに対して返信分を足し合わせることで 0.62 ということで、2 割程度向上する上昇。
3:06:51	するんですけれども今日限界以下であることを確認してございます。
3:06:56	(2)ねじり応力につきましては、
3:06:59	あと、
3:07:00	国会のせん断照査が最も厳しいのが出て産地で照査値なんですけれども、汗表 2.4。
3:07:09	4.2-4 に結果を示しております。
3:07:12	最も厳しい照査値 0.31 に対してねじれとこう考慮することで、0.47 ということで、
3:07:19	上昇するんですけれどもこちらも許容限界以下であるということを確認しております。
3:07:25	耐震計算書地震につきましてはこのような評価を行っております。
3:07:30	続きまして津波時等の形で検討を行っております津波時重畳時について御説明しますと津波に
3:07:38	続きましては、
3:07:41	6.1. 2-73 ページをお願いいたします。
3:07:53	失礼いたしました 72 ページをお願いいたします。
3:07:57	6.1. 272 ページ、表 3.5-11 ということで、こちらに地震時と同じような整理で、
3:08:04	鋼管杭に生じる応力と変位という観点で整理をしてございます。
3:08:09	津浪につきましては、返信モーメントについては、
3:08:14	津浪荷重によって

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:08:17	右側から敷地側、紙面でいきますと右側から左側に曲げモーメント生じるんですけれども、
3:08:24	トークと向こうが張り出すことで作用するモーメントというのは自重になりますので、紙面でいきますと左から右が敷地から海側になっても、発生するモーメント相殺する形になるので、
3:08:41	地震については、
3:08:43	印紙モーメントというのは考慮しないと。
3:08:46	保守的に考慮しないということを考えてますんでね事例については、
3:08:50	あと、先ほどちょっと田村からご説明しても、ここにも関連するんですけれども、端部に衝突すると。
3:08:59	ねじれが発生することがございますので、こちらはあの津波時、
3:09:04	そう解析によって得られた断面力に
3:09:07	事例を加算して評価することを考えております。
3:09:12	こちらの正面から衝突という形を考えておりますが、相当付けとして斜め方向に衝突する場合もございますので、そういったものについては影響確認として、補償のほう影響検討の章に示すこととしております。
3:09:27	続きまして、変位、
3:09:30	P2 につきましては、と汀線直交方向について考えることとしてございまして、
3:09:37	それと、
3:09:38	こちらについては先ほど田村のほうから御説明した内容なんですけれども端部に衝突した場合の影響検討ということで、6.1. 6 章に示しております。
3:09:52	それとね事例について、当評価方法 73 ページで評価結果、
3:09:59	200 ページ、
3:10:02	6.1. 2-200 ページの表 4.1-39 にお示してございます。
3:10:13	あと、
3:10:14	表 4.1-39 ですと、1 基も津波時厳しいのが減って照査値 0.49 になりますが、ねじれ
3:10:23	漂流物が端部になった場合のねじれを考慮して 0.54 ということで、こちらも許容限界以下であることを確認しております。
3:10:31	ちょっと津波については以上になりますと、
3:10:35	回答整理表ですみませんページが抜けており大変申しわけございませんか。重畳時についても同じ整理をしてございまして、こちらが 6.1. 2-139 ページになります。
3:10:48	138 ページです。いたしました。
3:10:55	あと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:10:56	6.1. 2-138 ページにもこちらも重畳時の鋼管ぐいの返信荷重の考慮方法ということで記載してございまして、これまでと同様の返信荷重に関する整理の表は 139 ページに記載しております。
3:11:12	ええと、標高 139 ページ兵庫 3.5-22 についてですが、鋼管杭の下部点につきましては、先ほどちょっとご説明
3:11:24	失礼しました。
3:11:26	ハシモトにつきましては、津浪荷重と、あと余震の荷重によって曲げモーメントは同様に、海から
3:11:36	敷地紙面で言うと右から左になるようにモーメントが発生します。一方で
3:11:45	漂流物荷重方向の自重が 1 自分
3:11:50	当敷地から海側紙面で左から右側に採用します。重畳時の鉛直荷重、鉛直震度については最大で 0.7g 程度になるので、時 10 のほうが大きいので、
3:12:05	僕
3:12:07	からの偏心による影響というのは、敷地から海側に倒れるようになるとなりますので、
3:12:16	こちら
3:12:19	津波荷重と余震荷重によってられるモーメントを相殺する形になるので、
3:12:26	重畳時についてもこの偏心によるモーメントというのは保守的に考慮しないということにしております。
3:12:32	続きましてねじれにつきましては、
3:12:35	ニチレイにつきましては津浪荷重が作用した状態で水平加振電事連が生じる。
3:12:42	ですけれども、こちらについてはより水平震度が大きい地震時の影響の程度を確認できますしておりますので、承知では省略することとしております。
3:12:55	で、
3:12:55	当庫幹部に生じる変位につきましては、汀線方向と汀線直交方向ともに、
3:13:02	問屋構造が同じということも踏まえて、
3:13:06	それぞれ相対変位に及ぼす影響は小さいということで整理をしております。
3:13:13	あと、
3:13:15	こちらについて
3:13:18	コメント No.50 番については以上になります。それで次 49 番なんですけれども、先ほどの説明の中で、
3:13:28	コメント内容として鋼管ぐいの 2 次評価について、斜め方向から衝突した場合の評価結果を説明することということで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:13:36	コメントいただいております、それについて御説明します。先ほどの 50 番の時の御説明の際に、
3:13:45	イトウ 6.1. 2。
3:13:47	もう調停の資料②-6.1. に防潮で強度計算書の影響検討ということで、
3:13:55	行っておりますということで御説明をさせていただいております、
3:13:59	その結果、
3:14:01	6.1. 2、資料②6.1. 2 の 328 ページに記載がございます。
3:14:25	失礼いたしました。
3:14:27	6.1. 2 の 328 ページ、5. 参照ということで、漂流物衝突に鋼管ぐいのね事例についてということで、イトウ 329 ページ。
3:14:39	評価の概念図ということでお示しておりますが、
3:14:44	図 5.3-2 に示す通り、端部に衝突する場合を考えたときに、鋼管杭のねじれに対しては相当斜め方向。
3:14:55	それから衝突さ方が 2 事例。
3:14:58	いじり大きく評価。
3:15:00	それるといことも考えられるので、こういった斜めからしよつちゅうした場合についての影響ということも確認させていただきます。
3:15:08	解析のヘッド実施ケースについては、と津波時、
3:15:13	等と同様のケースで行ってございます。
3:15:19	出戸結果につきましては、330 ページの表 5.3-2 にお示している内容になりまして、
3:15:26	表 5.3 の人にはと津波時の検討が一番上でさらにねじれの影響考慮での漂流物が直角に当たった場合、端部の直角に当たった場合、
3:15:39	一番下に事例を考慮する場合で斜めにあった場合ということで結構並べております。照査値でいきますと、上から 0.490. 540.60 ということで、
3:15:51	1 割程度ずつ上昇するんですけれどもこちらも構造成立性に大きな影響がないということを確認させていただきます。
3:16:00	こちらでナンバー49 番の御説明以上であります。
3:16:05	説明は以上になります。
3:16:09	はい。説明は以上ということでちょっと私の方がちょっとまず先に何点か確認させていただきます。
3:16:16	6-1-5 の 24 からちょっと
3:16:23	6-1-5-24 ですね。
3:16:28	ちょっとウレタン吸い込ん関係として
3:16:32	なんですけども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:16:34	止水ジョイント部材として今ウレタンとする事故、これはリストアップされているのはわかります。イトウ縁切りだっちゅうのが何か今ちい位置付けがよくわからず、これは縁切り材は測定と止水ジョイントの一部なのかそれとも
3:16:49	違うのか、あと延期全材質角があまり記載がなく、ちょっと位置付け東西一つちょっと説明いただけますでしょうか。
3:17:02	東北電力の田村です。
3:17:06	演技材につきましては、24 ページの一番上の
3:17:13	文章に
3:17:15	書いておりますが、
3:17:21	ウレタンを施工するときに発砲ウレタンを使う関係でかた枠として入れているものでございまして、もっとも何ですかね。ここの止水ジョイントとしての
3:17:38	機能的対応はしていない状況で入れているものでございます。あくまでその施行。
3:17:45	をするとき、必要だということで入れているものでございまして、ただ
3:17:51	前回のヒアリング等でも、
3:17:54	確かコメントされておりましたけれども、荷重の伝達等では、
3:18:01	役割といいますか。荷重を受けて、別の
3:18:07	ものに荷重を受け渡したりするので、その辺については、
3:18:11	何かしらの役割があるんだろうということで、その入れている状況でございますので、
3:18:18	演技材についての材質は過急発行を
3:18:25	1 ロール
3:18:27	アポー連の
3:18:28	でございます。はい。
3:18:45	フジワラですと、
3:18:48	はい。
3:18:51	粉末と今荷重伝達とかの 56-1-5-26 とか見たときに、
3:18:57	今ちょっと私が何を確認したいかという、この
3:19:03	止水ジョイントとしての止水機能ですかね、2 番の直接関連してるもの。
3:19:10	というのと、
3:19:11	管理者向けてのはちょっといまいわからないので多分もうちょっと整理したほうがいいのかなっていうのはちょっと私の感触について、
3:19:20	そうですね、実験で何か実際ウレタンとシリコンと演技材全部ひっくるめてやって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:19:27	評価はされているんですよね。多分何となくそういう観点からですね三つ相まって多分止水成功してるのかなというふうな判決と他社感じ取ってただ一方で、
3:19:38	ちょっとわからないのがシリコンと
3:19:42	構成者差し引きかで、
3:19:45	基本的にここが接着していることで止水性を期待してるようにも見えてきた中の付着切れても何か止水性確保できそうな気もして、それがちょっと若干ちょっと今よくわからないところがあって、今、ただ、
3:20:01	東北電力さんとしては一応シリコンと縁切り材がちゃんとする密着接着すかねがとりわけ多分バウンダリとしてここに一応位置付けられるのか、それとも何か要は背面側も含めて、バウンダリにしているのかっていうのは、そこがちょっといまいち
3:20:19	はっきりしないというのがあったんですね、おそらく全体構成する
3:20:24	材料の位置付けとともに多分整理したほうがいいのが来ますしますが、それって何か今も何か考えがあるとちょっとを御説明ください。
3:20:34	東北電力の田村です。
3:20:39	バウンダリーとかのお話でいくと敷地側のシリコンはほとんど役割として機能していない状況でございまして、海側のほうのc項が
3:20:55	その止水性の
3:20:57	状況ですので、
3:20:59	その演技材については、
3:21:03	ちょっと
3:21:04	県も見たほうがいいかなと思うので、
3:21:07	同じ 6.1. 5 の
3:21:13	68 ページですか、ちょっとこれも見にくいんですが、
3:21:18	6.1. 5-68 ページの下に、
3:21:22	左下の写真。
3:21:25	これ上から
3:21:27	見ている状況で、中に、
3:21:30	ウレタンが少し発泡しているような状況がわかるかなと思うんですけど、それを
3:21:37	これでいくと、上と下のほうに、稟議材を入れていって方多くのしている状況ですので、
3:21:48	実際に何ですかねえと施工上のもうなので、
3:21:55	役割としては、機能としては期待はしていない状況で入れてるんですけども、おっしゃる通り、施行とはいえ、これが入った状況で今、設置を

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:22:09	えっとしているとするということで考えると、これも含めてのウレタン知り※1 ということかなというふうに
3:22:18	思いますので。
3:22:19	もう少し前議題について、
3:22:23	書かせていただくかなと思います。
3:22:26	それから、
3:22:31	構成者数併記等シリコンの付着の話。
3:22:36	ですが、
3:22:40	確か前回のヒアリングで少し
3:22:47	話をしたと思うんですけど。
3:22:54	そうなんですかね。
3:22:58	シリコンの引張みたいなのも実はやってたりするので、そういったものについても少し
3:23:05	フォローをしたいなと思います。前回触れた押し込み時の試験体の端っこを少し外れてるけど大丈夫みたいな話をされたときに、
3:23:19	この辺は執行については適用外だよという話をさせて、今回いただきましたけれども、それと並行して、
3:23:28	構成者数併記等そのシリコンがちゃんと付着をしているという件についてももう少し
3:23:34	フォローしないといけないかなと思いますので、その辺について、
3:23:40	資料充実させていただきたいと思っております。以上です。
3:23:46	はい、規制庁補助使うわかり合うん向けと言いますと、6日でも20で我々は別に延期だよな止水ジョイントにして欲しいと。そういうディテール急いで内ないんですね、単純に触れたんでは何かリストアップされて、
3:24:04	回位中にありがとうございます。一方でその同じ中にあるM機材が何でなんか入ってないんだらうかっていった数だけなんです日本酒のバウンダリにっていうのがもし仮に海側のシリコンですっていうのは多分、裏っかわに内圧ウレタンとか経済とあんまり、
3:24:20	いや、赤字を
3:24:22	間接支持直接かつわかんないですけど。
3:24:25	になるんですかね。それともうけどもそういった位置付けちょっとわからないんじゃないじゃそれは今後整理いただけるっていうのは理解いたしまして、
3:24:33	ちょっとその次にちょっと先ほど接着話が出たんでちょっと確認なんですけども。
3:24:38	6-1-5-68 ページでちょっと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:24:42	お伺いしたいのですね、
3:24:45	音声斜水がこの進め時の施工不良というところで構成写真左にPRA今OWT F接着剤ですか、遠くして、本当にシリコンゴムを防ぐんで。
3:24:56	これ写真見ると、構成者整理これら白っぽいやつですね。
3:25:00	それに対してはシリコンの輸入してる形になってます。
3:25:04	この中の構成者線引きを仲良く金融と何かこう白い塗装。
3:25:11	防食塗装かなんかだと思うんですよね。もしかしたら海だから 10 防食かもしないんですけども。
3:25:16	そういった
3:25:18	要は
3:25:19	SHOEIと順番から外さ線引きの鋼材があってその上に塗装がなされても装置の防食塗装、そして横にさらにシリコンで接着をするようは防食の運シリコンで接着する或いは
3:25:35	塗装社製ウエキが接着状況で岩中二段階のなんか接着状況になっていると思うんですよね、そういった状況も実験で確認されているのかそれとも実験を別にその防食としては無視無視してやっているのか、ここはちょっと今の資料上、
3:25:52	わからなかったんでそこをちょっと説明いただけますか。
3:25:59	東北電力の田村です。
3:26:06	ちょっと、
3:26:08	確認をさせて正しいこそ
3:26:12	中途半端な情報で答えるべきではないかなと思うので、確認をさせていただきます。ただ先ほど私が申し上げた、日引っ張って外れないようなことも確認をしている。
3:26:30	しておりますがそのときには、ここに書いてある載っている。
3:26:36	ものと同じような条件でございますんで、ちょっとその辺についても、
3:26:41	どういう条件で、塗られているかというのも含めて記載を追加したいと思いますのでよろしくお願いします。
3:26:50	はい。規制庁フジワラです。わかりました。ちょっと防食塗装どきなんていうのは例えば防食塗装そのものがちゃんとなんですかね、施工不良でなく、
3:27:01	浮き上がったります。
3:27:02	しないかとか或いは経年劣化とかで浮き上がってきて、岩です止水機能に影響あるようなことにならないかというのはちょっと今よくわからなかったのでは、そういう観点から据え置きしますので、じゃあその状況をまず実際実験やりました状況と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:27:19	あと、もしと総合ちゃんとやりとその品質をどう確保した方がそういうふうなことになるかと思しますので、その辺またじゃ今後説明ください。よろしくお願ひします。いかがですかね。
3:27:32	その対応させていただきたいと思ひます。
3:27:36	さっき言ったと思つてその剥がれたつていう話が
3:27:42	実験ではかれたつて話ですからイトウ 6-1-5-38 ページですね、そこでちょっと今話が多分この件ですか。この用いれ書いてある黄色い文字ですか。登用はこういった変形状況の清水駄目において、
3:27:58	わずかにちょっとシリコンが剥がれているところがありましたと。
3:28:02	ということで、ちょっと発しこれからなんか図りましたつていうのは御説明があつて、ちょっとこれもちょっと何か確認したんですけど。
3:28:10	これが何で働いたかつちゅうのが中山知文章中説明がなく、
3:28:15	うんこ実験場特徴で外れたのかそれとも端つこと外れてしまうものなのかというのにはちょっと今わからなかつたんで教えて欲しい 1000 万で買つたつと傍聴つていうの徹底と多分似たように要はシリコンで終われてはいる 4。
3:28:32	いるものつ実際の連続駄目じゃないところありますよね。そういうところももしかしてはかれることつあるのかつてのがちょっとよくわからず、
3:28:41	あと、仮に梁とか止水性が確保できそうな気もするんですけど、一方で今の中、バウンダリは海側のシリコンですつておつしやる通り、決定はどうなんだろうという、ちょっと今その辺がよくわからなかつたんで、まず何でこれ剥がれたのかつていうと、
3:28:56	実際、堤防のてつぺんではかれる可能性があるのかつていうのをちょっと説明ください。
3:29:04	東北電力の田村です。
3:29:12	多分そのPRA今つその塗布の状況、
3:29:17	かなとは思つているんですけども、実際に
3:29:24	実施行のときには、先ほど申し上げた通り全面的に追われるので何ですかね
3:29:33	別添のほうも、こうくらい
3:29:37	うん。
3:29:39	コーセイ社製品のほうに塗り続けるので。
3:29:42	そういう状況にはならんと思つておりますので、
3:29:49	はい。
3:29:50	私は聞きますとかもしんですけど、今、実際の防潮てについては要は構成冊平均ところに設定までプライム塗つてその趣旨と吸い込んを塗ると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:30:04	まず実験のほうのとドーズ育つ値が状況或いはPRA今お端っこまでなんない。
3:30:14	っていう御説明なんですか。今の話っていうと、
3:30:18	ちょっと私がちゃんと説明理解できなかった。すいません。東北電力の田村です。
3:30:24	ちょっと図が悪いかもしれませんけどさ。
3:30:29	6.1. 5-3、32 ページですかね。
3:30:35	これ断面を示していて、
3:30:44	日履行施工するところの構成者数平均にはくらい
3:30:51	塗布するので、
3:30:53	するんですけども、供出振れ楽しくシリコンの試験体としては、その前のページのように、
3:31:08	何か
3:31:12	できてしまうとか末端部があって、あるので、
3:31:16	くらい
3:31:21	なんて言うんですかね。
3:31:22	嘘
3:31:24	そういうのが出てきてしまうだろうと、そういうのも含めて、そういうのも含めて、
3:31:29	32 ページのように端部をつくらないように上にシリコンをこう連続的に
3:31:38	こうてるような状況だということでございます。
3:31:47	吹付じゃないです。要は染み込んで多くてるっていうことが、要は違いということを使うことですか。なるほどする。
3:31:59	Fといいますの文章に遂行に覆われているっていうそういうことなんですね、管理者向けは入っていると理解しました。はい。
3:32:08	あとちょっと今
3:32:12	32 ページのほうで6-1-30 ですね、これ背面補強工ナインなんか売り監視高校ってあるんですけど、これ得るのかなっていうのはちょっと或いは
3:32:26	都民見えてる状態で塗りですなわけですけど、埋まってる所塗るっていうのが何か。
3:32:32	何か。
3:32:33	接着剤注入するみたいな確保ちゅうてるのかそれとも
3:32:37	またはけるのかちょっとわからず、それで施工可能なんでしょうかねっていうかそれだけなんですけど。
3:32:44	東北電力の田村です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:32:49	塗るというよりは注入、
3:32:51	はい、でございます。
3:32:54	この会社はちょっと設計施工の実現性という観点でどういう施工する形で今ハケで練る中示されているんですけど末端のちょっとそこもそういった手続きなり何か会計だけもつとありがたいんですが、いかがですかね。
3:33:08	対応させていただきます。
3:33:12	以上、フジワラですね。それからもう1点ねじれ健全で1点だけ確認ですけども、6-1-6の参考の絵と1-3。
3:33:27	6-1-6の
3:33:31	6-1-6が152ページまで、そこからイトウ参考が始まってその参考1-3ですね。
3:33:37	ここ開いていただいたときにちょっと私が今申し上げるのは、と止水ジョイントという観点で常にねじれの影響についての確認ですね。
3:33:47	今ここで漂流物衝突荷重が走った場合の評価と参考1-3にありますね。
3:33:54	ちょっと確認者の参考1-5をちょっと開いていただきまして、
3:34:00	三番に斜めに衝突したときの評価っていうのが示されてんですけど、これが本当にこれで
3:34:06	評価をなされているかちょっとわからないんですね、
3:34:11	私が当初のイメージしてたのは、まず交換が。
3:34:17	効果の中心というのはまず点をまず
3:34:20	こういったときにその効果の中心からこの衝突位置までのアーム長をどこが先ほど何か
3:34:28	衝突荷重を受けなくアーム長という表現があったんで、もうすぐそのアーム長がまずこれさっきこの衝突位置と効果の中心位置までがそうだと思いますんでそこに対してベクトル分解をしない衝突荷重PCですねそれが、
3:34:44	欠けているような交換中心に作用するねじりの取り組み、
3:34:50	まずあるだろうと。その取り組みに対してどれだけの交換のメンバーが回転するか、
3:34:59	今何かすごい簡単な評価をやってるんですけど、何かそれを何か今の
3:35:04	ねじりによる海底の評価っていうの方が何か大きそうな気もするし、でも何かよくわからないですので、要は今のこういう簡易的な評価が本当にいいのかそれとも実現象的な取り組む考慮した専用出すほうがいいのか。
3:35:19	委員長、機械工学日の部下の見たときには、一応そういったこういった会見力が作用した場合の変形角ですかね、電話なんかだしことも特にによってなんかあんまり出し方に何か難しいことはないような気もして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:35:35	清水の式によると例えばこの鋼管の延長方向の長さに応じて当然そのねじれの変位量が大きくなるはずなんですよ、一方で今の評価式多分交換の鉛直方向の中であまり加味されず、
3:35:50	要は、たとえ非常に露出してる1メートルであろうが、自民党だろう海底の変形があるか、一緒のはずなんですよ。
3:35:58	なので、そういった観点からちょっと機械工学便覧とかを用いて、そう、その会見。
3:36:06	半径2と呼ぶか意見、
3:36:10	要は算出し、それに伴った列島止水ジョイントの変形量というのはどうなのかっていうのはちょっと今後御説明いただきたいなと思っておりますが、いかがでしょうか。
3:36:25	東北電力の田村です。
3:36:28	検討させていただきたいと思います。1点だけ
3:36:34	そのバーい
3:36:36	ですと、
3:36:38	例えばとかに9ページのほうに
3:36:43	相対変位も結構書いておりますけれども、ここに出てくる津波時の変位増分というのが20何ミリとこう書いて
3:36:54	私のほうですけど、27名都会って数字がほとんど衝突荷重で出てくるような状況でございますので、
3:37:05	過去、これがなんていうんですかね。真正面に当たった場合の併用。
3:37:10	ですので、この数字との足し合わせということではなくてダイレクトに斜めからたつたときのねじれを考えた時の
3:37:19	えっと、海山方向の変位を出して許容限界の30日に収まっているかどうかと。
3:37:26	いう検討かなと思いますが、そういう認識でよろしいですね。
3:37:31	はい。規制庁フジワラですもん。そうですね今のこの簡易的な評価をなんかそういうふうにも多分やられてるんかもしれないんですけどちょっとあの程度感がちょっとわからなかったの、所程度河成ためにもう1回そういった評価を見てみて、どっちが保守的なのかというのはその時に見てもいいのかもしれないのでは、
3:37:46	今はちょっと結果をどんなのかをさせていただければと思います。
3:37:50	よろしいですかね。
3:37:52	東北電力の田村です。検討させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:37:56	はい。私のほうはとりあえず以上で、あと皆さんの方から返信関係についてお願いできますでしょうか。
3:38:06	はい、ミウラどっちに聞こえますか。はい。こちらフジワラでとても良好に機構でございませう。よろしくお願ひします。はい。
3:38:14	6-1-1 の
3:38:18	200 ページですな、ちよつと見ていただけますか。
3:38:26	ちよつとまずいくつか平成に関しては確認をしたいんですが、まず健診ももつと今回返信を考慮一つ目は、すべて計算書の中に反映されるという理解でよろしいでしょうか。
3:38:39	はい、東北電力様とですなと、おっしゃる通りでして計算書の中に返信モーメント考慮することで記載のほうをさせていたでいております。以上です。はい、わかりました。
3:38:51	数量で通つて 200 ページ見ていったときに、まず表の 3-8-1、この並進ものとは鉛直方向と水平方向快適に思ふんですけど。
3:39:05	このねじれの高校つていうのは金庫防虫ての
3:39:10	汀線方向に地震力が来たときのねじれのチェックつて考へているCですか。
3:39:18	はい、東北電力予定ですけど。
3:39:20	2 事例につきましては、汀線方向にとそ地震力が来たはい
3:39:26	2 事例を考へております。皆さんのおっしゃる通りです。以上です。
3:39:31	わかりました。
3:39:33	ちよつとお聞きしたいんですが、このねじりモーメント、鉛直方向の水平方向もそうなんですが、ねじれ方向のねじ部門と伝達する代とか水平リブつて何らかチェックをされてますか。
3:39:55	はい、東北電力の予定していて、現在は鋼管ぐいに対する他者を性をしておりまして、
3:40:04	合計 3 回と計算書等補足説明資料の中ではガーダーイエスとか、リブから水平リブに対する照査までお示しできてない状況になります。
3:40:16	以上です。
3:40:18	わかりました。そんなに大きな応力オーダーではないと思ふんですが、この並進もめた鋼管杭まで移行伝達しなきゃいけないので、それを介在する部材と何らかの評価が必要だと思ひます。
3:40:31	それを招くテニス無理だったらそれなりの評価をしていただくつていうことが大切だと思ふんですがいかがでしょうか。
3:40:43	東北電力の予定さの承知いたしました。
3:40:47	こんねじれの影響によつてプールへと架台、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:40:49	並びに水平リブなどと荷重伝達するものの、
3:40:53	評価がちょっと適切に行っているかできていなければ評価を付け加えるなど検討させていただきます。
3:41:01	以上です。
3:41:03	はい、規制庁の三浦です。よろしくお願いします。それでちょっと一つお願いなんです、先ほど矢部さんの御説明聞いていて、
3:41:14	きちっと返信門と評価されてるなんていうのは理解できたんですが、
3:41:21	荷重状態に応じてどういう検診モーメントの考慮の仕方をしているか、例えば、常時のときに、水平1方向プラス鉛直除き後な水平2方向プラス鉛直っていうのもあると思うんですね、あと、
3:41:37	津浪余震時、
3:41:39	の重畳時、あと津波という法律の時これそれぞれについて、この漂流物防護工が返信していることによるそのリアル的な影響というのはどう評価してるかってのをどっかでまとめていただくことはできないでしょうか。
3:41:58	東北電力イワダテです。今回資料を作るときにそういった資料が作ったほうがいいかなとかっていうのは少し検討さんですけども、補足説明資料が海進と共同分かれているということもあって、それぞれに、今回は記載させていただきましたが、
3:42:15	皆さんのおっしゃる通り、一つの資料で体系的に説明をした方
3:42:23	他に安いということをご最もかと思しますので、補足説明資料、
3:42:28	次、6.9とか、
3:42:33	設計に係る補足説明とか、所がございましてそういうところに追加するか、それから6.16.91点、12まで今相があるので、それ以降に新しく追加するなど、あらたの資料、あと、
3:42:49	ツクイして示せるようにしたいと思います。
3:42:52	以上です。
3:42:54	規制庁の三浦です。確か昨日耐震部分と教育生協部分があるので、今バラバラでいらっしゃる島っていうのはわかるんですが、ちょっと全体としてミウラたする資料があったほうが、今ちょっと資料といろいろめぐりながらじゃないとどう評価されたっていうのは十分理解できないので、ちょっとお手数ですが、
3:43:11	そういう評価の全部の荷重状態に対して、どういう評価の仕方してるか、先ほど丁寧にこう海側曲がるモーメントは無視しているとかっていう話もありますんでその辺含めて、ちょっとまとめていただくことができますでしょうか。それともう1点、そのモーメントに対して、先ほどちょっと話題とか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:43:31	続けると話をしたんですが、どういうふうに、そのモーメント伝達し、今期うんと交換後に持ってくるかということの動員力の伝達のサービスとそれぞれの部材をどういうふうにチェックするかっていう方針ですね。
3:43:47	あと評価方法
3:43:48	あと許容限界、これも含めてちょっと全部をさもアップしたような資料を作ってくださいと非常にわかりやすいんですが、どうでしょうか。
3:43:59	東北電力予定して
3:44:01	皆さんの御指摘の件承知いたしましたのつにまとまった資料として構造概要荷重伝達の評価方法を許容限界照査結果まで含めてどうするの終了ということで作ってお示しさせていただきたいと思います。以上です。
3:44:18	はい、規制庁の三浦です。ちょっと落とす必要がありますのでちょっと我々も理解を含むにはそういう資料をいただいたほうがいいと思いますのでよろしく願います。
3:44:29	奥に行く予定承知いたしました。
3:44:33	はい。私からは以上です。
3:44:39	規制庁から何か口座いでしょうか。
3:44:53	ませ。規制庁エザキですけど。
3:44:57	今日行った。
3:44:59	説明のあった話ではなくて、この防潮で全体の
3:45:05	設計に関しては耐震性ですね。
3:45:08	に関してでございます。
3:45:10	以前私のほうで
3:45:17	それから及び流動化による影響た滑り安全滑り安全率、いわゆる絶対するんですよね。
3:45:27	に対する影響、
3:45:34	それに関しては、今どのような状況なんでしょうか。
3:45:39	はい、東北電力の橋本です。
3:45:44	有効応力というか液状化を考慮した場合の当外的反省としての末尾に当安全率ということだったと思いますけれどもすいません今回今後回答にさせていただきますけれどもそれちょっと
3:46:02	何といいますか他の解析優先したこともありまして、実は見込みとして問題ない数値が出てきているという、出てくるという見込みは立っておりますので次回
3:46:17	内容を内容とかの結果を御説明させていただきたいと思います。すいませんちょっと回答の順番として

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:46:28	問題ない見込みのやつをちょっと後回しにさせていただいたところがございます。すいませんでした。
3:46:35	規制庁のエザキです。忘れられてなければ結構です。
3:46:40	膨らんでございます。もちろん重要な事項として認識しておりますので説明させていただきます。以上です。
3:46:54	その他規制庁側から何かございますでしょうか。
3:47:06	じゃあ東北電さんの方から何か今日のヒアリングについて全体を通じて何かございますでしょうか。
3:47:13	はい、東北電力からは特にありません。
3:47:19	でもよろしいということでもいいでしょうか。
3:47:29	伊勢湾台風などです。
3:47:33	はい、じゃあ、本日のヒアリングは以上とさせていただきます。
3:47:38	思ってます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。